

総合講義（I）

責任者・コーディネーター	口腔医学講座（予防歯科学分野） 岸 光男 教授 医療工学講座 武本 真治 教授 解剖学講座（機能形態学分野） 藤原 尚樹 教授					
担当講座（分野）	歯学部専門科目担当講座					
対象学年	5	区分・時間数	講義/演習	実習		
期間	通期		前期	142.0時間	—	
			後期	108.5時間	—	

学修方針（講義概要等）

4年生までに歯科医学の基礎系科目および臨床系コースでの講義と実習を通して、歯科医学の基礎知識を学修してきている。5年生では臨床実習を通してこれまでに習得している科学的な根拠となる基礎知識を確認し、歯科臨床との関わりを理解することが重要である。総合講義（I）では、基礎系科目と臨床系科目との有機的な結びつきを深めることで、臨床実習での専門的知識への理解度を深め、総合的な歯科医学の見識を深めることを目的とする。本講義を通じて、スチューデントデンティストとして臨床実習の実践に必要な知識を中心に講義を行う。

教育成果（アウトカム）

臨床実習において診療参加型実習を実践している中で、科学的な根拠をもとに統合された知識、技能、態度を有し、全身的、心理的、社会的状況に対応可能な総合的な診療を実践するために、歯科医学臨床に直結する内容で今までに学んだ専門分野の知識を振り返り、知識と技能の融合を行う。

（関連するディプロマポリシー：：1、2、5、7、8、9）

到達目標（SB0s）

临床上必要な歯科医学および口腔衛生に関して、歯科医師として具有すべき知識を習得する。全体として下記を到達目標とするが、それぞれの講義毎の到達目標は日程表に記す。

- 1) 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。
- 2) 社会と歯科医療の仕組みを説明できる。
- 3) 健康管理・増進に関わる取り組みを説明できる。
- 4) 人体の正常構造と機能を説明できる。
- 5) 人体の発生・成長・発達・加齢変化を説明できる。
- 6) 主要な疾患と障害の病因と病態を説明できる。
- 7) 全身の症候、口腔・顎顔面領域の症候を説明できる。
- 8) 全身的疾患に関連する口腔・顎顔面領域の症候を説明できる。
- 9) 薬物に関連する口腔/顎顔面領域の症候を説明できる。
- 10) 診察の基本事項を説明できる。
- 11) 検査・臨床の判断の基本を説明できる。
- 12) 歯科材料の使用方法を材料の基礎的性質と結びつけて説明できる。
- 13) 成長・発育に関連した疾患および病態に関連する治療方法を説明できる。
- 14) 歯・歯髄・歯周組織の疾患に関連する治療方法を説明できる。
- 15) 顎・口腔領域の疾患に関連する治療方法を説明できる。
- 16) 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害に関連する治療方法を説明できる。
- 17) 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者などに関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療を説明できる。
- 18) 歯科疾患の予防・管理を説明できる。

事前事後学修の具体的内容及び時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、第4学年までに修了している各系統講義で用いた学修資料（教科書、レジメ等）や事前にWeb Classにアップされた講義資料等を用いて事前学修を行うこと。講義終了後は、教科書や講義資料等を活用し、事後学修を行うこと。各講義に対する事前事後学修の時間は最低30分を要する。本内容は全講義に対して該当するものとする。

（事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低30分を要する）

講義/演習日程表 (必修試験①試験解説講義)

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	3/26 (火)	8 : 4 0 5	八重柏隆教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周領域必修問題① 歯周領域の必修問題に ついて理解する。	1. 試験解説を通して歯周領域の必 修問題を解くことができる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：歯周について3年次に使 用したレジメ、講義ノートに目を通 して講義に臨むこと。
講義	3/26 (火)	1 0 : 0 0 5	石河太知教授 (微生物学講座 分子 微生物学分野)	微生物学・免疫学必修 1 (必修講義) 歯科医師として修得す べき微生物学・免疫学 の基本的な知識や特に 重要な必修項目を理解 する。	1. 微生物学・免疫学の歴史と発展 について説明できる。 2. 院内感染対策について説明でき る。 3. 生体の免疫機構について説明で きる。 4. 口腔の生態系について説明でき る。 [A-1-3-5, A-4-1-1, 2, 3, 6, 7, 8, 9, D- 3-1-3-1, D-3-2-2, 3, 4, D-3-1-10- 2, D-5-2-3-1] アクティブラーニング：ディスカッ ション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる 領域のDESS演習を行うこと。 事前学修：過去5年間の国家試験の 微生物学・免疫学に関連する必修問 題について学習しておくこと。
講義	3/26 (火)	1 0 : 5 0 5	原田英光教授 (解剖学講座・発生生 物・再生医学分野)	組織・器官系・発生学 の重要領域のまとめ 組織・発生学の重要領 域を確認し、適切な対 策を立てることができる ようになる。	1. 組織・器官系・発生学の重要領 域について説明できる。 2. 組織・器官系・発生学における 自分自身の弱点を認識し、自分に あった勉強法を見つけることができ る。 [A-2全般] ICT端末を持参すること。 事前学修：事前に配布したテキスト の必要な項目に目を通しておくこ と。また問題集については各自で解 答して理解不足の点を抽出しておく こと。
講義	3/26 (火)	1 3 : 0 0 5	小川淳准教授 (口腔顎顔面再建講座 口腔外科学分野口腔 外科学)	口腔外科領域必修問題 解説1 口腔外科領域の必修問 題について理解する	必修試験①の試験解説を通して口腔 外科領域の必修問題を解くことがで きるようになる。 [D-3-1~11]
講義	3/26 (火)	1 5 : 4 0 5	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	生化学領域の必修知識 生化学の重要項目なら びに唾液の成分につい て理解する。	1. 歯科医師として必要な生化学領 域の必修知識を理解する。 2. 唾液成分の由来や機能について 説明できる。 [A-3-3-6, A-3-3-7] DESS演習の準備をしておくこと。 事前学修：唾液成分について、5年 次の総合講義 I で使用したレジメに 目を通して講義に臨むこと。

講義	3/26 (火)	16:20~	千葉俊美教授 (関連医学)	内科学領域必修問題 1 内科学の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して内科領域の必修問題を解くことができるようになる。 [D-2-3] 事前学修：内科学に関する国家試験問題を確認し講義に臨むこと。
講義	3/26 (火)	16:35~	熊谷美保准教授 (障害者歯科学)	障害者歯科領域必修解説① 障害者歯科学の必修領域（総論、知的能力障害、自閉スペクトラム症、運動障害、てんかん）について理解する。	1. 試験解説を通して障害者歯科学領域（総論、知的能力障害、自閉スペクトラム症、運動障害、てんかん）の必修問題を解くことができるようになる。 [D-5-8-1~5] 事前学習：教科書、ノート、レジメですでに学んだことを確認して講義に臨むこと。
講義	3/27 (水)	8:40~	米澤悠助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	有床義歯 必修解説① 有床義歯学の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して有床義歯学領域の必修問題を解くことができる。 [D-5-3-2] 事前学修：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	3/27 (水)	10:00~	福德暁宏講師 (冠橋義歯・口腔インプラント学)	クラウンブリッジ学領域必修問題 クラウンブリッジ補綴学領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通してクラウンブリッジ補綴学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [D-5-3-1、E-5-3-4-1]
講義	3/27 (水)	11:20~	浅野明子准教授 (う蝕治療学)	一般教養問題 一般教養領域の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して一般教養領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-9] DESS演習の準備をしておくこと。 事前学修：国家試験出題基準の一般教養領域必修部分を読んでくること。
講義	3/27 (水)	13:00~	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	予防歯科必修試験①解説 必修問題に必要な社会歯科学、公衆衛生学、口腔衛生学の項目を列挙できる。	1. 必修問題に特異的な出題基準を列挙できるようになる。 2. 必修問題を通して一般、臨実問題に共通する基礎的知識を把握できるようになる。 [PS-04、PS-9-11、S0-01-03] 事前学習：必修試験①の予防歯科関連問題を想起して学習課題を整理しておくこと。講義中随時知識確認のための質問とフィードバックを行う。
講義	3/27 (水)	15:40~	間山寿代准教授 (歯科矯正学)	歯科矯正学領域必修問題 歯科矯正学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して矯正領域の必修問題を解くことができる。 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5, 6] 事前学修：必修試験で出題された問題に関する内容を講義ノート、教科書で確認する。

講義	3/28 (木)	8 : 4 0 }	橋口大輔助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者 歯科学分野)	小児歯科学領域必修問題 小児歯科学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して小児歯科学領域の必修問題を解くことができる。 [D-5-6-1~10] 事前学修：過去5年分の小児歯科学領域の必修問題を確認しておく。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
講義	3/28 (木)	1 0 : 0 0 }	藤原尚樹教授 (解剖学講座 機能形態学分野)	肉眼解剖学・歯の解剖学の基本的内容のまとめ1 必修問題に必要な肉眼解剖学と歯の解剖学について体系的に整理・理解する。	1. 頭頸部の肉眼解剖学領域についての基本的項目を列挙し、説明できる。 2. 歯の解剖学領域についての基本的項目を列挙し、説明できる。 3. 各自の弱点領域を見つけることができる。 [A-3-2-1~16, A-3-3-1~8], A-3-4-1, 2, 5, 6] 事前学修：過去5年の歯科医師国家試験の解剖学関連領域から出題された必修問題をチェックし、振り返りをしておくこと。講義でその問題及び関連事項について資料に書き込みながらフィードバックする。 事後学修：講義資料を元に確認すべき基本事項を具体的に把握し、学修内容の要点についてのまとめノートを作成すること。
講義	3/28 (木)	1 0 : 5 0 }	入江太朗教授 (病態解析学)	必修試験1解説講義 病理学総論の重要項目について体系的に整理・理解する。	1. 歯科医師として必要な病理学領域の必修知識を説明できる。 2. 循環障害、増殖と修復について説明できる。 [A-5-3、A-5-4] ディスカッション方式の講義を行う。講義の途中あるいは最後にクリッカーを活用して学生の理解度を逐次確認する。 事前学修：スタンダード病理学p74-109, p42-60を読み、疑問点を抽出しておくこと。

講義	3/29 (木)	1 1 : 3 0 }	熊谷章子教授 (法科学講座法歯学・災害口腔医学分野)	法歯学・災害口腔医学必修1 法歯学・災害口腔医学の必修領域について理解できる。	1. 医療チーム編制意義と歯科医師の役割を説明できる。 2. 患者の自己決定権について説明できる。 3. 医療事故・過誤を説明できる。 4. 歯科医師の法的責任について説明できる。 5. 死因究明等に関する法規について説明できる。 6. 法医学的検査に関連する法規について説明できる。 7. 法医学的個人識別に必要なヒトの成長発育、加齢変化、性差を説明できる。 [A-2-3-4] [C-1-1-2] [C-1-2-5] [C-3-2-1] [C-4-1-1] [C-4-2-2] [C-4-3-5, 7, 8] [C-4-4-1, 2, 3] [D-5-6-10] [D-5-7-10] 事前学修：必修問題で出題された内容を講義ノートや教科書で確認しておくこと（所要時間30分以上）。
講義	3/28 (木)	1 3 : 0 0 }	中村友宣助教 (う蝕治療学)	歯内領域必修問題 修復、歯内の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して修復、歯内領域の必修問題を解くことができるようになる。 [D-5-2-2] 事前学修：国家試験出題基準の修復、歯内領域必修部分を読んでおくこと。
講義	3/28 (木)	1 4 : 2 0 }	中村友宣助教 (う蝕治療学)	修復領域必修問題 修復、歯内の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して修復、歯内領域の必修問題を解くことができるようになる。 [D-5-2-1] 事前学修：国家試験出題基準の修復、歯内領域必修部分を読んでおくこと。
講義	3/28 (木)	1 5 : 4 0 }	中村友宣助教 (う蝕治療学)	総合歯科領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法 歯科医師として必要な総合歯科領域の知識を修得することができる。	1. 試験解説を通して総合歯科領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-4、A-5] 事前学修：今春の総合歯科領域の国家試験問題を解いておくこと。
講義	3/28 (木)	1 7 : 0 0 }	武本真治教授 (医療工学講座)	歯科理工学必修試験解説講義1 歯科理工学領域の基本的事項について説明することができる。	1. 歯科理工学領域の基礎的知識を説明することができる。 [B全般] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、講義要旨、講義ノートの関連項目に目を通して講義に臨むこと。講義中に随時知識の確認のための質問とフィードバックを行う。

講義	3/29 (金)	8 : 4 0 }	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	歯科麻酔領域必修問題1 歯科麻酔の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して歯科麻酔領域の必修問題を解くことができるようになる。 [D-1, D-2-3, D-3-1-9, E-1-2, D-1-3, E-2-3] 事前学修：国家試験出題基準の歯科麻酔領域の必修部分を読んでおくこと。
講義	3/29 (金)	1 0 : 0 0 }	加藤哲也助教 (病態生理学)	必修試験1解説講義 必修問題に必要な一般生理学、口腔生理学の項目を列挙できる。	1. 歯科医師として必要な生理学領域の必修知識を説明できる。 2. 試験解説を通して生理学領域の必修問題を解くことができる。 [A-3-1-3, A-3-1-4, A-3-1-5, A-3-1-6, A-3-1-7, A-3-1-8, A-3-1-9, A-3-1-10, A-3-1-11, A-3-2, A-3-3, A-3-4] 事前学修：生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	3/29 (金)	1 0 : 5 0 }	田村晴希講師 (薬理学講座 病態制御学分野)	薬理学必修知識1 歯科医師として修得すべき薬理学の基本的な事項について理解する。	1. 試験解説を通して薬理学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-6-1-1~2, A-6-2-1~5, A-6-3-1~3, A-6-4-1~6] 事前学修：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する必修問題について学習しておくこと。
講義	3/29 (金)	1 3 : 0 0 }	泉澤充特任教授 (歯科放射線学)	放射線領域の基本1 放射線領域の基本的な項目について修得する。	1. 放射線領域の基本的な項目を列挙し、説明できる。 [E-1-2)-①~⑨]

講義/演習日程表 (必修試験②試験解説講義)

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/2 (火)	8 : 4 0 5	八重柏隆教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周領域必修問題② 歯周領域の必修問題に ついて理解する。	1. 試験解説を通して歯周領域の必 修問題を解くことができる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：歯周について3年次に使 用したレジメ、講義ノートに目を通 して講義に臨むこと。
講義	4/2 (火)	1 0 : 0 0 5	三浦利貴助教 (微生物学講座 分子 微生物学分野)	微生物学・免疫学必修 2 (必修講義) 歯科医師として修得す べき微生物学・免疫学 の基本的な知識や特に 重要な必修項目を理解 する。	1. 微生物学・免疫学に関わる全身 疾患による口腔症状について説明で きる。 2. 微生物学検査および免疫血清学 検査について説明できる。 3. 感染症の概念・病因・病態につ いて説明できる。 4. 免疫異常の概念・病因・病態につ いて説明できる。 [A-1-3-5, A-4-1-1, 2, 3, 6, 7, 8, 9, D- 3-1-3-1, D-3-2-2, 3, 4, D-3-1-10- 2, D-5-2-3-1] アクティブラーニング：ディスカッ ション方式の講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる 領域のDESS演習を行うこと。 事前学修：過去5年間の国家試験の 微生物学・免疫学に関連する必修問 題について学習しておくこと。
講義	4/2 (火)	1 0 : 5 0 5	天津圭史特任教授 (解剖学講座・発生生 物・再生医学分野)	細胞・組織の基本的内 容のまとめ1 組織学領域の基本的な 内容について、統合的 かつ体系的に整理、理 解できるようになる。	1. 細胞・組織・器官の基本的な内 容について整理して確認できる。 2. 細胞・組織・器官の基本的な内 容について周辺組織との関連も考え ながら体系的に説明できる。 [A-2, -3全般] ICT端末を持参すること。 事前学修：事前に配布したテキスト の必要な項目に目を通しておくこ と。また問題集については各自で解 答して理解不足の点を抽出しておく こと。
講義	4/2 (火)	1 3 : 0 0 5	小川淳准教授 (口腔顎顔面再建講座 口腔外科学分野口腔 外科学)	口腔外科領域必修問題 解説2 口腔外科領域の必修問 題について理解する	1. 必修試験②の試験解説を通して 口腔外科領域の必修問題を解くこと ができるようになる。 [D-3-1~11]

講義	4/2 (火)	1 5 : 4 0 5	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	生化学領域の必修知識 生化学の重要項目なら びにホルモンの機能に ついて理解する。	1. 歯科医師として必要な生化学領 域の必修知識を理解する。 2. ホルモンの性状や受容体につ いて説明できる。 [A-1-1-2, A-1-2-1, A-1-2-3, A-1- 4-1, A-1-5-2, A-3-1-9-2] DESS演習の準備をしておくこと。 事前学修：ホルモンの作用機構につ いて、5年次の総合講義 I で使用し たレジメに目を通して講義に臨むこ と。
講義	4/2 (火)	1 6 : 2 0 5	千葉俊美教授 (関連医学)	内科学領域必修問題 2 内科学の必修領域につ いて理解する。	1. 試験解説を通して内科領域の必 修問題を解くことができるようにな る。 [D-2-3] 事前学修：内科学に関する国家試験 問題を確認し講義に臨むこと。
講義	4/3 (水)	8 : 4 0 5	米澤悠助教 (歯科補綴学講座 有 床義歯・口腔リハビ リテーション学分 野)	有床義歯 必修解説② 有床義歯学の必修領域 について理解する。	1. 試験解説を通して有床義歯学領 域の必修問題を解くことができる。 [D-5-3-2] 事前学修：講義内容について教科書 と4年次に使用したレジメ、講義 ノートに目を通して講義に臨むこ と。
講義	4/3 (水)	1 0 : 0 0 0 5	横田潤講師 (冠橋義歯・口腔イン プラント学)	クラウンブリッジ学領 域必修問題 クラウンブリッジ補綴 学領域の必修問題につ いて理解する。	1. 試験解説を通してクラウンブ リッジ補綴学領域の必修問題を解く ことができるようになる。 [D-5-3-1、E-5-3-4-1]
講義	4/3 (水)	1 1 : 2 0 5	浅野明子准教授 (う蝕治療学)	一般教養問題 一般教養領域の必修領 域について理解する。	1. 試験解説を通して一般教養領 域の必修問題を解くことができるよう になる。 [A-9] DESS演習の準備をしておくこと。 事前学修：国家試験出題基準の一般 教養領域必修部分を読んでくるこ と。
講義	4/3 (水)	1 3 : 0 0 5	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	予防歯科必修試験②解 説 社会歯科学、公衆衛生 学、口腔衛生学で必修 とされる項目を理解で きる。	1. 必修問題に特異的な知識を理解で きるようになる。 2. 必修問題を通して一般、臨実問 題に共通する基礎的知識を把握でき るようになる。 [PS-04、PS-9-11、SO-01-03] 事前学習：必修試験①の予防歯科関 連問題を想起して学習課題を整理し ておくこと。講義中随時知識確認の ための質問とフィードバックを行 う。
講義	4/3 (水)	1 5 : 4 0 5	間山寿代准教授 (歯科矯正学)	歯科矯正学領域必修問 題 歯科矯正学領域の基本 的事項について理解す る。	試験解説を通して矯正領域の必修問 問題を解くことができる。 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5, 6] 事前学修：必修試験で出題された問 題に関する内容を講義ノート、教科 書で確認する。

講義	4/4 (木)	8 : 4 0 5	橋口大輔助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者 歯科学分野)	小児歯科学領域の歯科 医師として必要な知識 修得とその勉強法 歯科医師として必要な 小児歯科学領域の知識 を修得する。	1. 試験解説を通して小児歯科領域の 必修問題を解くことができる。 [D-5-6-1~10] 事前学修：過去5年分の小児歯科領 域の必修問題を確認しておく。 アクティブラーニング：講義中に教 員とのディスカッションの機会を設 ける。
講義	4/4 (木)	1 0 : 0 0 5	藤原尚樹教授 (解剖学講座 機能形 態学分野)	肉眼解剖学・歯の解剖 学の基本的内容のま とめ2 必修問題に必要な肉眼 解剖学と歯の解剖学に ついて体系的に整理・ 理解する。	1. 頭頸部の肉眼解剖学領域につい ての基本的項目を列挙し、説明でき る。 2. 歯の解剖学領域についての基本 的項目を列挙し、説明できる。 3. 各自の弱点領域を見つけること ができる。 [A-3-2-1~16, A-3-3-1~8], A-3-4- 1, 2, 5, 6] 事前学修：過去5年の歯科医師国家 試験の解剖学関連領域から出題され た必修問題をチェックし、振り返り をしておくこと。講義でその問題及 び関連事項について資料に書き込み ながらフィードバックする。 事後学修：講義資料を元に確認すべ き基本事項を具体的に把握し、学修 内容の要点についてのまとめノート を作成すること。
講義	4/4 (木)	1 0 : 5 0 5	佐藤泰生講師 (病態解析学)	必修試験2解説講義 病理学総論の重要項目 について体系的に整 理・理解する。	1. 歯科医師として必要な病理学領 域の必修知識を説明できる。 2. 腫瘍、免疫異常、感染症の概念 について説明できる。 [A-4-1、A-4-2、A-5-6] ディスカッション方式の講義を行 う。講義の途中あるいは最後にク リッカーを活用して学生の理解度を 逐次確認する。 事前学修：スタンダード病理学 p142-186, p244-282を読み、疑問点 を抽出しておくこと。
講義	4/4 (木)	1 3 : 0 0 5	菅 徹也助教 (う蝕治療学)	修復、歯内領域必修問 題 修復、歯内の必修領域 について理解する。	1. 試験解説を通して修復、歯内領 域の必修問題を解くことができるよ うになる。 [D-2-1, 2] 事前学修：国家試験出題基準の修 復、歯内領域必修部分を読んでくる こと。
講義	4/4 (木)	1 5 : 4 0 5	千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	総合領域必修問題 総合歯科の必修領域に ついて理解する。	1. 試験解説を通して総合領域の必 修問題を解くことができるよ うになる。 [A-4、A-5] DESS演習の準備をしておくこと。 事前学修：国家試験出題基準の一般 教養領域必修部分を読んでくるこ と。

講義	4/5 (金)	8 : 4 0 5	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	歯科麻酔領域必修問題2 歯科麻酔の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して歯科麻酔領域の必修問題を解くことができるようになる。 [D-1, D-2-3, D-3-1-9, E-1-2, D-1-3, E-2-3] 事前学修：国家試験出題基準の歯科麻酔領域の必修部分を読んでおくこと。
講義	4/5 (金)	1 0 : 0 0 5	加藤哲也助教 (病態生理学)	生理学領域の基本的内容 生理学領域の基本的な内容について、統合的かつ体系的に整理、理解できるようになる。	1. 歯科医師として必要な生理学領域の必修知識を説明できる。 2. 試験解説を通して生理学領域の必修問題を解くことができる。 [A-3-1-3, A-3-1-4, A-3-1-5, A-3-1-6, A-3-1-7, A-3-1-8, A-3-1-9, A-3-1-10, A-3-1-11, A-3-2, A-3-3, A-3-4] 事前学修：生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	4/5 (金)	1 0 : 5 0 5	田村晴希講師 (薬理学講座 病態制御学分野)	薬理学必修知識2 歯科医師として修得すべき薬理学の基本的な事項について理解する。	1. 試験解説を通して薬理学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-6-1-1~2, A-6-2-1~5, A-6-3-1~3, A-6-4-1~6] 事前学修：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する必修問題について学習しておくこと。
講義	4/5 (金)	1 1 : 3 0 5	熊谷章子教授 (法科学講座法歯学・災害口腔医学分野)	法歯学・災害口腔医学必修2 法歯学・災害口腔医学の必修領域について理解できる。	1. 医療チーム編制意義と歯科医師の役割を説明できる。 2. 患者の自己決定権について説明できる。 3. 医療事故・過誤を説明できる。 4. 歯科医師の法的責任について説明できる。 5. 死因究明等に関する法規について説明できる。 6. 法医学的検査に関連する法規について説明できる。 7. 法医学的個人識別に必要なヒトの成長発育、加齢変化、性差を説明できる。 [A-2-3-4] [C-1-1-2] [C-1-2-5] [C-3-2-1] [C-4-1-1] [C-4-2-2] [C-4-3-5, 7, 8] [C-4-4-1, 2, 3] [D-5-6-10] [D-5-7-10] 事前学修：必修問題で出題された内容を講義ノートや教科書で確認しておくこと（所要時間30分以上）。
講義	4/5 (金)	1 1 : 4 5 5	熊谷美保准教授 (障害者歯科学)	障害者歯科領域必修解説② 障害者歯科学の必修領域（行動調整、嚥下障害、歯科治療の工夫）について理解する。	1. 試験解説を通して障害者歯科学領域（行動調整、嚥下障害、歯科治療の工夫）の必修問題を解くことができるようになる。 [D-5-8-1~5] 事前学習：教科書、ノート、レジメですでに学んだことを確認して講義に臨むこと。

講義	4/5 (金)	1 3 : 0 0 }	泉澤充特任教授 (歯科放射線学)	放射線領域の基本2 放射線領域の基本的な項目について修得する。	1. 放射線領域の基本的な項目を列挙し、説明できる。 [E-1-2]-①~⑨]
講義	4/5 (金)	1 4 : 2 0 }	武本真治教授 (医療工学講座)	歯科理工学必修試験解説講義2 歯科理工学領域の基本的事項について説明することができる。	1. 歯科理工学領域の基礎的知識を説明することができる。 [B全般] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、講義要旨、講義ノートに関連項目に目を通して講義に臨むこと。講義中に随時知識の確認のための質問とフィードバックを行う。

講義/演習日程表（臨床試験解説講義）

区分	月日 (曜)	時 限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/9 (火)	8 : 4 0 }	八重柏隆教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周領域臨床問題 歯周領域の臨床問題に ついて理解する。	試験解説を通して歯周領域の臨床問 題を解くことができる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：歯周について3年次に使 用したレジメ、講義ノートに目を通 して講義に臨むこと。
講義	4/9 (火)	1 3 : 0 0 }	福德暁宏講師 (冠橋義歯・口腔イン プラント学)	クラウンブリッジ補綴 学領域臨床問題 クラウンブリッジ補綴 学領域の臨床問題につ いて理解する。	試験解説を通してクラウンブリッジ 補綴学領域の臨床実地問題を解くこ とができるようになる。 [D-5-3-1、E-5-3-4-1]
講義	4/9 (火)	1 4 : 1 0 }	福德暁宏講師 (冠橋義歯・口腔イン プラント学)	口腔インプラント学領 域臨床問題 インプラント領域の臨 床問題について理解す る。	試験解説を通してインプラント領域 の臨床実地問題を解くことができ ようになる。 [D-5-3-3]
講義	4/9 (火)	1 5 : 2 0 }	古城慎太郎講師 (口腔顎顔面再建講座 口腔外科学分野口腔 外科学)	臨床試験解説講義 口腔外科領域の臨床問 題について理解する	1. 臨床試験の試験解説を通して口腔 外科領域の臨床問題を解くことがで きるようになる。 [D-3-1~11]
講義	4/10 (水)	9 : 5 0 }	齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者 歯科学分野)	小児歯科学領域臨床試 験問題の解説 小児歯科学領域の基本 的事項について理解す る。	1. 試験解説を通して小児歯科領域の 臨床問題を解くことができる。 [D-5-6-1~10] 事前学修：小児歯科領域の臨床問題 を確認しておく。 アクティブラーニング：講義中に教 員とのディスカッションの機会を設 ける。
講義	4/10 (水)	1 4 : 1 0 }	間山寿代准教授 (歯科矯正学)	歯科矯正領域の臨床問 題 歯科矯正学領域の基本 的事項について理解す る。	1. 試験解説を通して矯正領域の臨 床問題を解くことができる。 [D-5-5-1, 2, 3, 4, 5, 6] 事前学修：歯科矯正学の臨床問題に ついてまとめ、各自の弱点ならびに 疑問点を抽出すること。
講義	4/10 (水)	1 6 : 3 0 }	泉澤充特任教授 (歯科放射線学)	放射線領域の勉強法 臨床実地問題に必要な 放射線領域の勉強法を 見つけることができ る。	1. 歯科放射線領域の臨床実地問題 に必要な知識を修得することができ る。 [E-1-2]-①~⑨]
講義	4/11 (木)	8 : 4 0 }	中村友宣助教 (う蝕治療学)	歯内領域臨床問題 歯内の必修領域につい て理解する。	1. 試験解説を通して歯内領域の臨 床実地問題を解くことができよう になる。 [D-2-2] 事前学修：国家試験出題基準の修 復、歯内領域の臨床部分を読んでく ること。

講義	4/11 (木)	9 : 5 0 {	中村友宣助教 (う蝕治療学)	歯内領域臨床問題 歯内の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して歯内領域の臨床実地問題を解くことができるようになる。 [D-2-2] 事前学修：国家試験出題基準の修復、歯内領域の臨床部分を読むこと。
講義	4/11 (木)	1 1 : 0 0 {	中村友宣助教 (う蝕治療学)	修復領域臨床問題 修復の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して修復領域の臨床実地問題を解くことができるようになる。 [D-2-1] 事前学修：国家試験出題基準の修復、歯内領域の臨床部分を読むこと。
講義	4/11 (木)	1 3 : 0 0 {	中村友宣助教 (う蝕治療学)	修復・領域臨床問題 修復の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して修復領域の臨床実地問題を解くことができるようになる。 [D-2-1, 2] 事前学修：国家試験出題基準の修復、歯内領域の臨床部分を読むこと。
講義	4/11 (木)	1 4 : 1 0 {	原総一郎助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	有床義歯 臨床試験解説 有床義歯学の臨床領域について理解する。	1. 試験解説を通して有床義歯学領域の臨床実地問題を解くことができる。 [D-5-3-2] 事前学修：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	4/11 (木)	1 5 : 2 0 {	原総一郎助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	有床義歯 臨床試験解説 有床義歯学の臨床領域について理解する。	1. 試験解説を通して有床義歯学領域の臨床実地問題を解くことができる。 [D-5-3-2] 事前学修：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	4/11 (木)	1 6 : 3 0 {	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	歯科麻酔領域臨床試験問題 歯科麻酔の臨床一般領域について理解する。	1. 試験解説を通して歯科麻酔領域の臨床実地問題を解くことができるようになる。 [D-1, D-2-3, D-3-1-9, E-1-2, D-1-3, E-2-3] 事前学修：国家試験出題基準の歯科麻酔領域の一般領域部分を読むこと。

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/30 (火)	1	岸光男教授 (口腔医学講座 予防 歯科学分野)	予防歯科必修試験解説 公衆衛生学、社会と歯 学の必修領域に特異的 な項目を列挙氏、それ ぞれを概説できる。	1. 必修問題に特異的な出題基準を 列挙できるようになる。 2. 必修問題を通して一般、臨実問 題に共通する基礎的知識を把握でき るようになる。 [C-1-1-1~6、C-1-2-1~5、C-1-3-1 ~6、C-3-1-1~4、C-3-2-1~3、C- 4-2-1~7、C-4-3-1~6] 事前学修：必修試験①の予防歯科関 連問題を想起して学修課題を整理し ておくこと。講義中随時知識確認の ための質問とフィードバックを行 う。
講義	4/30 (火)	2	原田英光教授 (解剖学講座 発生生 物・再生医学分野)	上皮/結合組織の総括的 理解~その構造と機能 破綻を考える <口腔疾患と全身1> 上皮・結合組織の基本 的な構造・機能とその 破綻によって引き起こ される疾患との関連を 理解できるようにな る。	1. 上皮と結合組織の基本的構造が説 明できる。 2. 上皮の細胞と細胞間接着装置につ いて説明できる。 3. 細胞間接着装置に異常を来す疾患 を列挙して、その病因を説明でき る。 [A-3-1-1, -2, -3] 事前学修：細胞間接着装置・細胞外 基質に関連した疾患について、最新 口腔外科学第5版を用いて事前に学 修しておくこと。
講義	4/30 (火)	3	菅徹也助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	齲蝕 保存修復学1 齲蝕	1. エナメル質齲蝕、象牙質齲蝕、根 面齲蝕について説明できる。 2. 齲蝕歯質において残すべき歯質、 除去すべき歯質について説明でき る。 3. 齲蝕検知液の成分、分子量につ いて説明できる。 4. ICDASについて説明できる。 [D-5-2-1-1, 2] 事前学修：齲蝕の診査診断につ いて、講義ノート、実習書を参照。理 解ができない場合は、教科書(医歯 薬保存修復学)にて確認する。
講義	4/30 (火)	7	田村晴希講師 (薬理学講座 病態制 御学分野)	薬理学必修知識 歯科医師として修得す べき薬理学の基本的な 事項について理解す る。	1. 試験解説を通して薬理学領域の 必修問題を解くことができるよう になる。 [A-6全般] 事前学修：過去5年間の国家試験の 薬理学に関連する必修問題につ いて学修しておくこと。

講義	5/7 (火)	2	帖佐直幸准教授 (生化学講座 細胞情報科学分野)	唾液の生化学 唾液の成分とその作用について理解する。	1. 唾液成分を列挙し、その作用を説明できる。 2. 唾液中の酵素の働きを説明できる。 3. 唾液中の抗菌因子の作用機序を説明できる。 [A-3-3-6, A-3-3-7] 事前学修：到達目標の内容に関し教科書で調べて講義に臨むこと。
講義	5/7 (火)	3	八重柏隆教授 (歯科保存学講座 歯周療法学分野)	歯周領域必修問題, 一般問題, 臨床実地問題 歯周領域の必修問題, 一般問題, 臨床実地問題について具体的出題例を参考に理解する。	1. 歯周領域必修問題, 一般問題, 臨床実地問題に求められる基本的な考え方を説明できる。 2. 臨床実地問題への有効な取り組み方を具体的に概説できる。 3. 歯周領域学修方法の要点を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー3版、臨床歯周病学3版で復習しておく。
講義	5/7 (火)	7	泉澤 充教授 (歯科放射線学分野)	CT、MRI、US検査 顎顔面領域の適切な診断を行うため、各種診断装置の原理と適応について理解する。	1. CT値、部分容積効果について説明できる。 2. 歯科用コーンビームCTとX線CTの画像形成原理と適応を説明できる。 3. CTで用いられる造影撮影の目的と造影剤使用禁忌を列記できる。 4. MRIの画像形成原理と適応について説明する。 5. MRIで用いられる造影撮影の目的と造影剤使用禁忌を列記できる。 6. 超音波断層法の画像形成原理と適応を説明できる。 7. PET検査、核種について説明できる。 8. シンチグラフィ検査と核種について説明できる。 [D-2-5-9]
講義	5/14 (火)	1	Harvard School of Dental Medicine (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)	Harvard School of Dental Medicine 共同講義	最先端のDigital Dentistryについて説明できる。 [D-5-2-2-1, S0-07]

講義	5/14 (火)	2	中村友宣助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	齶蝕 歯内療法学1 診査・診断	1. 歯内疾患の診断に必要な診査法を説明できる。 2. 歯内疾患の診断ができる。 3. 診査に必要な器具と使用方法を説明できる。 [D-5-2-2-1] 事前学修：歯髄疾患の診査診断について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書（医歯薬歯内治療学）にて確認する。
講義	5/14 (火)	3	黒瀬雅之教授 (生理学講座 病態生 理学分野)	循環機能と循環器疾患 全身疾患の中で、循環器の機能と病態を学び、他職種連携や在宅での診療を視野に有病者の状態を理解出来る。	1. 心機能を説明出来る。 2. 循環機能を説明できる。 3. 刺激伝導系を説明出来る。 4. 心電図を説明できる。 5. 循環器疾患の種類を説明できる。 6. 血管迷走神経反射を説明できる。 [A-3-1-4, D-6-1-1] 事前学修：該当箇所について、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 事前学修：レジユメの最後に記載する確認テストを用い、不明点について知識の補充を行う。
講義	5/14 (火)	7	佐藤泰生講師 (病理学講座 病態 解析学分野)	口腔粘膜疾患	1. 水疱性病変について説明できる。 2. 赤色病変について説明できる。 3. 潰瘍性病変について説明できる。 4. 白色病変について説明できる。 5. 黒色病変について説明できる。 6. 舌炎・口唇炎について説明できる。 7. ウイルス性・細菌性感染症について説明できる。 [D-3-1-4] 事前学修：新口腔病理学p143-161, p283-291を読み、疑問点を抽出しておくこと。
講義	5/21 (火)	1	米澤悠助教 (歯科補綴学講座 有 床義歯・口腔リハビ リテーション学分 野)	有床義歯学1 部分床義歯に必要な知識を整理して床義歯製作手法を理解する。	1. 部分床義歯の各操作の目的を説明できる。 2. 部分床義歯製作術式を説明出来る [E-5-3-4-2-1~8] 事前学修：義歯製作における精密印象採得について、4年次の有床義歯補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

講義	5/21 (火)	2	石河太知教授 (微生物学講座 分子 微生物学分野)	微生物学総論 病原微生物の生物分類 学上の位置づけおよび その性状を理解する。	1. 微生物の構造・性状について説明できる。 2. 感染の概念と感染症について説明できる。 3. 宿主-寄生体相互作用について説明できる。 [A-1-3-5, A-4-1-1, 2, 3, 6, 7, 8, 9] 事前学修：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題を学修しておく。
講義	5/21 (火)	3	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正歯科学1 顎顔面の成長発育	1. 口腔の発生について説明できる。 2. 頭蓋の成長について説明できる。 3. 上顎の成長について説明できる。 4. 下顎の成長について説明できる。 [A-2-4-1, 5, 6, A-3-1-2-3, 4, 5] 事前学修：歯科矯正学p14～65を読み、疑問点を抽出しておくこと。
講義	5/21 (火)	7	武本真治教授 (医療工学講座)	印象用材料/模型用材料 歯科臨床での印象採得、模型作製の材料学的基礎を確認する。	1. 歯科臨床での印象採得に用いる印象材の選択基準を説明できる。 2. 印象材の種類とタイプを説明できる。 3. 印象材の成分、組成と硬化機構を説明できる。 4. 印象採得の方法を説明できる。 5. 模型材の種類と特徴を説明できる。 [B-2-1] 事前学修：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、講義要旨、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	5/28 (火)	2	佐藤健一教授 (口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野)	歯科麻酔学1 局所麻酔法 局所麻酔法を学ぶことで歯科治療時の局所麻酔の重要性を理解することができる。	1. 局所麻酔の目的を説明できる。 2. 局所麻酔の特徴を説明できる。 3. 局所麻酔添加薬（血管収縮薬）を説明できる。 [D-1-2-1-1～4] 事前学修：到達目標の内容に関し臨床歯科麻酔学第6版（第4章1、第5章1～4）を用いて調べること。（事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低30分を要する）

講義	5/28 (火)	3	川井忠准教授 (口腔顎顔面再建学 講座 口腔外科学分 野)	外傷 口腔顎顔面領域に見ら れる損傷の概念、症 状、治療について習得 する。	1. 軟組織損傷を分類し、それぞ れの症状、治療法および治癒過程を説 明する。 2. 歯の損傷の種類と特徴、治療 法および治癒過程を説明する。 3. 一般的な骨折の種類と特徴、治 療法および治癒過程を説明する。 [D-3-1-2-1~5] 事前学修：口腔外科学第4版医歯薬 出版P88~121を読み疑問点を抽出し ておくこと。
講義	5/28 (火)	7	藤原尚樹教授 (解剖学講座 機能 形態学分野)	印象採得に関わる解剖 学 印象採得に必要な口腔 内の構造について理解 する。	1. 印象採得時に注意すべき解剖学的 ランドマークとリリースする構造の 解剖学的背景について説明できる。 2. 口蓋～口蓋帆の構造と裏打ちする 骨や筋の走行について説明できる。 3. 咀嚼筋の走行と印象採得注意点の 関係について説明できる。 [A-3-2-4, A-3-3-1, 2, 3, 4] 事前学修：「口腔解剖学第2版 第 19章 義歯と筋」を読み概要をまと めると共に、口腔内の解剖学的特 徴・咀嚼筋・口蓋帆の筋の走行につ いて復習しておくこと。講義で重要 事項について資料に書き込みながら フィードバックする。 事後学修：講義の内容を元に印象採 得において注意すべき口腔内の構造 と、それらを裏打ちする骨、筋及び 関連組織との関係などについてまと めノートを作成すること。
講義	6/4 (火)	1	中村友宣助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	齶蝕 歯内療法学2 歯髄炎	1. 歯髄腔の解剖学的特徴を説明でき る。 2. 炎症の病態を説明できる 3. 高齢者の歯髄変化が説明できる。 [D-5-2-2-1] 事前学修：歯髄炎について、講義 ノート、実習書を参照。理解ができ ない場合は、教科書（医歯薬歯内治 療学）にて確認する。

講義	6/4 (火)	2	齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	小児歯科学1 小児の心身の発育 小児の成長発育を理解する。	1. 小児の年齢を正しく評価できる。 2. 小児の身体的発育を正しく評価できる。 3. 小児の精神発達段階を説明できる。 4. 小児の生理的特徴を理解できる。 [A-2-2-1, 2、E-2-3-5] 事前学修：小児の心身の発育について教科書に目を通して講義に臨むこと。 事後学修：講義中に出題した問題を講義受講後に復習として解答すること。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
講義	6/4 (火)	3	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正歯科学2 矯正治療における診断	1. 口腔模型について説明できる。 2. セットアップ模型について説明できる。 3. エックス線検査について説明できる。 4. 機能検査について説明できる。 [D-5-5-3、E-5-4-1] 事前学修：歯科矯正学p145～174を読み、疑問点を抽出しておくこと。
講義	6/4 (火)	7	小林琢也教授 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	摂食嚥下リハビリテーション① 摂食嚥下のメカニズムと摂食・嚥下障害の検査法と診断を理解する。	1. 摂食嚥下のメカニズムを説明できる。 2. 摂食嚥下の5期モデルについて説明できる。 3. 摂食嚥下障害のスクリーニングテストについて説明できる。 4. 摂食嚥下障害の精密検査について説明できる。 [D-5-7-8] 事前学修：老年歯科医学 p 299～325、歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p 2～156を読み、疑問点を500字程度に疑問点をまとめておくこと
講義	6/11 (火)	2	山田浩之教授 (口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野)	口腔粘膜疾患 口腔粘膜疾患の症状、診断、治療法を習得する。	1. 口内炎やアフタの症状、治療法について説明する。 2. 水疱性疾患、ウイルス性疾患の症状、治療法について説明する。 3. 角化性疾患、色素沈着などの口腔粘膜疾患の症状について説明する。 [D-3-1-4-1～2] 事前学修：口腔外科学第4版医歯薬出版P173～212を読み、疑問点を抽出しておくこと。

講義	6/11 (火)	3	帖佐直幸准教授 (生化学講座 細胞情報科学分野)	ホルモンの生化学 ホルモンの構造と作用機序を理解する。	1. 細胞膜受容体と細胞内受容体について説明できる。 2. ペプチドホルモンとステロイドホルモンの作用機構を説明できる。 3. プロテインキナーゼによる細胞内情報伝達機構を概説できる。 [A-1-1-2, A-1-2-1, A-1-2-3, A-1-4-1, A-1-5-2, A-3-1-9-2] 事前学修：到達目標の内容に関し教科書で調べて講義に臨むこと。
講義	6/11 (火)	7	今一裕准教授 (冠橋義歯・口腔インプラント学分野)	冠橋義歯学1 クラウン・ブリッジの 治療の流れ クラウン・ブリッジの臨床の手順について理解する	1. 診療室と技工室での治療の流れを理解する。 2. 診療室と技工室で使用する機器や材料の特性を理解する。 [D-5-3-1-1~13] アクティブラーニング：ディスカッション方式を取り入れた講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学修：クラウン・ブリッジ補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	6/18 (火)	1	東兼司助教 (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)	齶蝕 保存修復学2 齶蝕の診査・診断	1. 齶蝕の診査法を説明できる。 2. 齶蝕の診断ができる。 3. 急性齶蝕と慢性齶蝕の違いを説明できる。 [D-5-2-1-1, 2] 事前学修：齶蝕の診査診断について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書（医歯薬保存修復学）にて確認する。
講義	6/18 (火)	2	三浦利貴助教 (微生物学講座 分子微生物学分野)	口腔細菌 口腔の正常フローラ、口腔細菌の性状および病原因子を学び、齶蝕・歯周疾患・歯内疾患の成立・発症機序を理解する。	1. 口腔のニッチとその構成細菌について説明できる。 2. 口腔病原微生物の特徴と病原因子について説明できる。 3. 齶蝕の成立機序について説明できる。 4. 歯周炎の成立機序について説明できる。 5. 歯内疾患の成立機序について説明できる。 [A-4-1-1, 2, 3, 5, 8, D-3-1-3-1, D-3-2-2, 3, 4, D-3-1-10-2, D-5-2-3-1] 事前学修：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学修しておくこと。

講義	6/18 (火)	3	鈴木啓太助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周病の検査、診断 (要点1) 歯周病のリスクファク ターから歯周病の発 症、進行を理解する。 歯周病の検査方法およ び必要な診断能力等を 身につける。	1. 歯周領域に求められる学力の水準 を説明できる。 2. 歯周領域の演習問題を概説でき る。 3. 歯周領域の要点を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 3版、臨床歯周病学3版で復習してお く。
講義	6/18 (火)	7	岸光男教授 (口腔医学講座 予防 歯科学分野)	疫学1 疫学の基本的考え方を 学ぶことで、診療、地 域補年に対する論理的 な方略を策定できるよ うになる。	1. 疫学の研究方法を列举できる。 2. 与えられたデータから疫学指標 を算出できる。 3. EBMを概説できる。 [C-6-1-1~3] 事前学修：2年時衛生・公衆衛生学 の教科書、資料の該当範囲を通読し ておくこと。講義中、適宜課題の呈 示と質疑応答を行う。
講義	6/25 (火)	1	佐藤健一教授 (口腔顎顔面再建学 講座 歯科麻酔学分野)	歯科麻酔学2 麻酔の偶発症 局所麻酔時の偶発症と そのメカニズムを学ぶ ことで偶発症の対処法 を理解することができる。	1. 局所麻酔および歯科治療時の全身 的偶発症を説明できる。(神経性 ショック、過換気症候群、アナフィ ラキシー、局所麻酔中毒、血管収縮 薬に対する反応、メトヘモグロビン 血症) 2. ショックを説明できる。 [D-1-2-1-5] 事前学修：到達目標の内容に関し臨 床歯科麻酔学第6版(第5章5、第12 章)を用いて調べること。(事前学 修：最低30分を要する 事後学修： 最低30分を要する)
講義	6/25 (火)	2	山田ありさ助教 (薬理学講座 病態制 御学分野)	抗炎症薬・止血薬・抗 血栓薬 歯科診療を行う上で必 要な抗炎症薬を理解す る。	1. 抗炎症薬・止血薬・抗血栓薬の 作用機序を説明できる。 2. 抗炎症薬・止血薬・抗血栓薬の 副作用を説明できる。 [A-6-2全般、A-6-4全般] 事前学修：作用機序と副作用につい てまとめておくこと。
講義	6/25 (火)	3	橋口大輔助教 (口腔保健育成学講 座 小児歯科学・障害 者歯科学分野)	小児歯科学2 歯列・咬合の発育 歯列および咬合の発育 を歯の交換の観点から 理解する。	1. 切歯交換期の特徴を説明できる。 2. 側方歯群交換期の特徴を説明でき る。 [A-2-4-5, 6] 事前学修：歯列・咬合の発育(歯の 交換)について教科書に目を通して 講義に臨むこと。 事後学修：講義中に出題した問題を 講義受講後に復習として解答するこ と。 アクティブラーニング：講義中に教 員とのディスカッションの機会を設 ける。

講義	6/25 (火)	7	今一裕准教授 (冠橋義歯・口腔インプラント学分野)	口腔インプラント学1 インプラント外科について治療の流れを理解する。	1. インプラントの基本構造を理解し、治療の検査方法と診断について説明できる 2. インプラント1次手術および2次手術の術式を理解し、一連の外科処置の流れを説明できる。 3. インプラント外科に必要な器具、材料を列挙できる。 [D-5-3-3-1~8] 事前学修：4年次に使用した教科書、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	7/2 (火)	1	池崎晶二郎講師 (解剖学講座 発生生物・再生医学分野)	結合組織の総括的理解 ~その構造と機能破綻 を考える <口腔疾患と全身2>	1. 結合組織の基本的構造が説明できる。 2. 結合組織の細胞と細胞外基質について説明できる。 3. 細胞外基質に異常を来す疾患を列挙して、その病因を説明できる。 [A-3-1-1, -2, -3] 事前学修：細胞外基質に関連した疾患について、最新口腔外科学第5版を用いて事前に学修しておくこと。
講義	7/2 (火)	2	山谷元気講師 (口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野)	嚢胞 口腔顎顔面領域に発生する嚢胞の分類、発生病因、診断、治療法を習得する。	1. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞を説明する。 2. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞の治療法を説明する。 [D-3-1-5-1~2] 事前学修：口腔外科学第4版医歯薬出版P305~334を読み、疑問点を抽出しておくこと。
講義	7/2 (火)	3	黒瀬雅之教授 (生理学講座 病態生理学分野)	呼吸機能と呼吸器疾患 全身疾患の中で、呼吸器の機能と病態を学び、他職種連携や在宅での診療を視野に有病者の状態を理解出来る。	1. 呼吸機能を説明出来る。 2. 心電図を説明できる。 3: スパイロメーターを説明できる。 4: 呼吸器疾患の種類を説明できる。 5. 過換気症候群を説明できる。 [A-3-1-8, D-6-1-1] 事前学修：該当箇所について、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 事前学修：レジメの最後に記載する確認テストを用い、不明点について知識の補充を行う。

講義	7/2 (火)	7	熊谷章子教授 (法科学講座 法歯 学・災害口腔医学分 野)	災害発生時の病院初動 発災直後に歯科医師と しての適切な対応がで きる。	1. 業務遂行計画 (BCP) の概念を説 明できる。 2. 歯科治療中に災害が発生した際の 適切な対応を説明できる。 3. 発災後安全に患者誘導ができる。 4. 頭頸部領域の災害傷病者に対応で きる。 5. ロールプレイングを通して、発 災後超急性期から急性期での医療機 関における歯科医師の役割と多職種 連携による災害対応を理解するこ とができる。 [C-1-3-2] [C-4-3-7] [C-4-3-8] [C-4-4-1] 事前学修：「災害歯科医学」p26-91 を読み、疑問点を抽出しておくこ と (所要時間60分以上)。 事後学修：講義で習得した基本的事 項をまとめること (所要時間30分以 上)。
講義	7/9 (火)	1	衣斐美歩講師 (病理学講座 病態 解析学分野)	嚢胞	1. 発育性嚢胞について説明できる。 2. 炎症性嚢胞について説明できる。 3. 顎骨内に発生する非歯原性嚢胞に ついて説明できる。 4. 軟組織に発生する非歯原性嚢胞に ついて説明できる。 [D-3-1-5] 事前学修：新口腔病理学p182-195を 読み、疑問点を抽出しておくこと。
講義	7/9 (火)	2	泉澤 充教授 (歯科放射線学分野)	放射線治療 口腔癌の放射線治療に ついて種類、適応につ いて習得する。	1. 口腔癌の放射線治療の方法と口 腔の管理を修得できる。 2. 放射線治療に関連した総合試 験、必修試験、到達度試験、模擬試 験等の弱点項目を克服できる。 [D-3-6-3]
講義	7/9 (火)	3	山谷元気講師 (口腔顎顔面再建学 講座 口腔外科学分 野)	唾液腺疾患 唾液腺疾患の症状、診 断および治療法を習得 する。	1. 唾液腺の炎症性疾患を説明する。 2. 唾液腺の腫瘍性疾患を説明する。 3. 唾液腺の閉塞性を説明する。 [D-3-1-8-1~7] 事前学修：口腔外科学第4版医歯薬 出版P376~430を読み、疑問点を抽 出しておくこと。
講義	7/16 (火)	7	菊池和子講師 (口腔保健育成学講 座 小児歯科学・障害 者歯科学分野)	障がい者歯科 1 各論復習	1. 行動調整 2. 各障害者 (知的能力障害、自閉ス ペクトラム症、注意欠如・多動症、 限局性学修症、脳性麻痺、てんかん など) について述べることができ る。 [D-5-8-1、D-5-8-2、D-5-8-3、D-5- 8-4、E-5-7-2] 事前学修：4年の講義ノートと教科 書に目を通して講義に臨むこと。

講義	7/23 (火)	1	澤田智史准教授 (医療工学講座)	歯冠修復材料 歯科臨床での歯冠修復材の材料学的基礎を確認する。	1. 歯科臨床での歯冠修復材の選択基準を説明できる。 2. 歯冠修復材の種類を説明できる。 3. 歯冠修復材の特徴を説明できる。 4. 歯冠修復物の製作方法を説明できる。 [B-2-1、B-3-1] 事前学修：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、講義要旨、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	7/23 (火)	2	齊藤裕美子助教（冠橋義歯・口腔インプラント学分野）	冠橋義歯学2 鑄造法によるクラウン製作 クラウン・ブリッジのワックスアップについて理解する。	1. クラウンの鑄造法による製作の特徴を説明できる。 2. クラウンのワックスパターン形成を説明できる。 [D-5-3-1-1～13] アクティブラーニング：ディスカッション方式を取り入れた講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学修：クラウン・ブリッジ補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	7/23 (火)	3	八重柏隆教授 (歯科保存学講座 歯周療法学分野)	歯周外科と根分岐部病変（要点2） 歯周外科（組織付着療法，再生療法，歯周形成外科，根分岐部病変の処置等）を中心に要点を理解する。	1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明できる。 2. 歯周領域の演習問題を概説できる。 3. 歯周領域の要点を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー3版、臨床歯周病学3版で復習しておく。
講義	7/23 (火)	7	岸光男教授 (口腔医学講座 予防歯科学分野)	疫学2 疫学の基本的考え方を学ぶことで、診療、地域補年に対する論理的な方略を策定できるようになる。	1. 基本統計量を列挙できる。 2. 統計学的検定の原理を説明できる。 3. 主な保健医療統計調査を列挙できる。 4. 人口統計を概説できる。 [C-6-2-1～4] 事前学修：2年時衛生・公衆衛生学の教科書、資料の該当範囲を通読しておくこと。講義中、適宜課題の呈示と質疑応答を行う。

講義	7/30 (火)	1	Harvard School of Dental Medicine (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	Harvard School of Dental Medicine 共同講義	アメリカでの矯正治療および矯正治療におけるClear AlignerのPros and Consについて学び、最新の技術について説明できる。 [D-5-5-3, SO-07]
講義	7/30 (火)	2	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	矯正歯科学3 矯正治療における抜歯	1. 矯正治療における抜歯の目的について説明できる。 2. Tweedの抜歯基準について説明できる。 3. Tooth size ratioについて説明できる。 4. 矯正治療における固定について説明できる。 [D-5-5-3] 事前学修：歯科矯正学p175～181を読み、疑問点を抽出しておくこと。
講義	7/30 (火)	3	佐藤宏明助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	有床義歯学2 全部床義歯に必要な知識を整理して床義歯製作手法を理解する	1. 全部床義歯の各操作の目的を説明出来る。 2. 全部床義歯製作術式を説明出来る。 [E-5-3-4-2-1～8] 事前学修：義歯製作における精密印象採得について、4年次の有床義歯補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	7/30 (火)	7	藤原尚樹教授 (解剖学講座 機能形態学分野)	咬合と歯の形態 咬合について歯の形態との関係から理解する。	1. 前歯部の上顎・下顎の歯の形態的特徴から咬合について説明できる。 2. 小臼歯～大臼歯部の上顎・下顎の形態的特徴から咬合について説明できる。 3. 歯の排列の特徴、正常な咬合関係について説明できる。 [A-3-4-1, 2, 5, 6] 事前学修：永久歯と乳歯、各歯の解剖学的特徴についてまとめておくこと。講義で重要事項について資料に書き込みながらフィードバックする。 事後学修：各歯の咬頭数、歯根数、根管数や各歯の形態的特徴及び好発する異常形態についてまとめノートを作成すること。

講義	8/27 (火)	1	原田英光教授 (解剖学講座 発生生物・再生医学分野)	顎骨の発生・成長～その破綻による先天性疾患を考える <口腔疾患と全身3> 歯と顎骨の正常発生と加齢にともなう変化、異常について説明できるようになる。	1. 骨の発生について説明できる。 2. 顎骨の発生について説明できる。 3. 大理石病、鎖骨頭蓋異形成症などの全身的な症状とともに、顎顔面に異常が見られる疾患やその原因について組織学的知識と連携させて説明できる。 [A-2-4-1, -2, -3, -4, -5, A-3-1-3, 4] 事前学修：最新口腔外科学第5版と小児の口腔科学4版を用いて顎骨の形態異常についての疾患を事前に学修しておくこと。
講義	8/27 (火)	2	中村友宣助教 (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)	齶蝕 歯内療法学3 根尖性歯周炎	1. 急性化膿性根尖性歯周炎の4期とそれぞれの対応について説明できる。 2. その他の根尖性歯周疾患について説明できる。 3. その他の根尖性歯周疾患の治療法について説明できる。 [D-5-2-2-1] 事前学修：根尖性歯周炎について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書（医歯薬歯内治療学）で確認する。
講義	8/27 (火)	3	岸光男教授 (口腔医学講座 予防歯科学分野)	医療関連法規 医療関連法規を学ぶことで、臨床における歯科医師の役割を理解することができる。	1. 医療法を概説できる。 2. 医療計画を概説できる。 3. 医療機関の種類を列挙できる。 4. 歯科医師法を概説できる。 [C-4-2-1～7] 事前学修：3年時社会と歯学の教科書、資料の該当範囲を通読しておくこと。講義中、適宜課題の呈示と質疑応答を行う。
講義	8/27 (火)	7	深澤翔太准教授 (冠橋義歯・口腔インプラント学分野)	冠橋義歯学3 クラウン・ブリッジの接着 クラウン・ブリッジ接着について理解する。	1. クラウン・ブリッジ補綴に使用する材料と表面処理について理解する。 2. セメントの種類と特徴を理解する。 [D-5-3-1-1～13] アクティブラーニング：ディスカッション方式を取り入れた講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学修：クラウン・ブリッジ補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

講義	9/3 (火)	1	齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	小児歯科学3 小児患者への対応 小児患者への円滑な治療を行うための基本的事項を理解する。	患者の特性に合わせた、歯科的対応法を選択できる。 [D-2-1-2、D-5-8-1, 2, 3、D-5-9-6] 事前学修：小児患者への対応法について教科書に目を通して講義に臨むこと。 事後学修：講義中に出題した問題を講義受講後に復習として解答すること。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
講義	9/3 (火)	2	中村友宣助教 (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)	齶蝕 歯内療法学4 根管治療の手順と方法	1. 根管治療の手順と方法が説明できる 2. 根管切削器具のISO規格が説明できる。 3. Ni-Tiロータリーファイルの使用方法和材料学的観点から見た使用時の注意点を説明できる。 4. 各種手用ファイルの使用方法和根管拡大法を説明できる。 [D-5-2-2-1] 事前学修：根管形成について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書（医歯薬歯内治療学）で確認する。
講義	9/3 (火)	3	泉澤 充教授 (歯科放射線学分野)	画像診断のまとめ1 口腔領域の画像診断について修得する。	1. 疾患（下記）の画像所見を説明できる。 歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、歯原性嚢胞、非歯原性嚢胞、上顎洞疾患、口腔領域の悪性腫瘍、口腔領域の炎症、骨折、唾液腺疾患、顎関節症、骨系統疾患 [D-3-1-6]、[D-3-1-8]、[D-3-1-3-1~7] 事前学修：それぞれの疾患の分類、特徴を理解しまとめておく。
講義	9/10 (火)	1	東兼司助教 (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)	齶蝕 保存修復学3 コンポジットレジン修復	1. コンポジットレジン修復の手順について説明できる。 2. コンポジットレジン修復時の補助法について説明できる。 3. コンポジットレジン修復時に使用するバーと、その使用目的の違いについて説明できる。 [D-5-2-1-3, 4, 6] 事前学修：コンポジットレジン修復について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書（医歯薬保存修復学）にて確認する。

講義	9/10 (火)	2	古城慎太郎講師 (口腔顎顔面再建学 講座 口腔外科学分 野)	顎変形症 顎変形症の症状、診 断、治療法を習得す る。	1. 顎変形症の概念と成因について説 明する。 2. 顎変形症を説明する。 3. 顎変形症の治療法を説明する。 [D-3-1-1-3] 事前学修： 口腔外科学第4版医歯薬出版P81～ 87、596～633を読み、疑問点を抽出 しておくこと。
講義	9/10 (火)	3	入江太朗教授 (病理学講座 病態解 析学分野)	歯原性腫瘍と非歯原性 腫瘍	1. 良性歯原性腫瘍について説明でき る。 2. 悪性歯原性腫瘍について説明でき る。 3. 線維性病変について説明できる。 4. 骨形成性病変について説明でき る。 5. 軟骨形成性病変について説明でき る。 6. 巨細胞性病変について説明でき る。 7. 円形細胞腫瘍について説明でき る。 [D-3-1-6] 事前学修：新口腔病理学p196-233を 読み、疑問点を抽出しておくこと。
講義	9/10 (火)	7	角保徳センター長 (歯科口腔先進医療開 発センター)	特別講義 超高齢社会の将来と歯 科医療の将来展望	1. 超高齢社会における歯科医療につ いて説明できる。
講義	9/17 (火)	1	Harvard School of Dental Medicine (口歯科保存学講座 歯周療法学分野)	Harvard School of Dental Medicine 共同講義	最新のPeri-implantitisの診断法と 治療法について説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般, S0-07]
講義	9/17 (火)	2	鈴木啓太助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周基本治療 (要点3) プラークコントロー ル, スケーリング, ルートプレーニング, 咬合調整, 暫間固定等 を復習し, 歯周基本治 療を理解する。	1. 歯周領域に求められる学力の水準 を説明できる。 2. 歯周領域の演習問題を概説でき る。 3. 歯周領域の要点を説明できる [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 3版、臨床歯周病学3版で復習してく く。

講義	9/17 (火)	3	石河太知教授 (微生物学講座 分子 微生物学分野)	免疫学 免疫応答による生体防 御の仕組みを理解す る。	1. 免疫応答に関与する器官と細胞に ついて説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫について説明 できる。 3. 主なサイトカインとその生物活性 について説明できる。 4. 微生物の認識機構と排除機構を説 明できる。 5. 各過敏症の発症メカニズムと代表 的な疾患について説明できる。 6. 主な免疫不全症の発症機序と疾患 について説明できる。 7. 自己免疫疾患発現に関与する因子 と代表的な自己免疫疾患について説 明できる。 [A-4-2-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, A-5-5-2] 事前学修：過去5年間の国家試験の 微生物学・免疫学に関連する問題に ついて学修しておくこと。
講義	9/17 (火)	7	米澤悠助教 (歯科補綴学講座 有 床義歯・口腔リハビ リテーション学分 野)	有床義歯学3 床義歯製作に必要な口 腔の解剖と精密印象採 得を理解する。	1. 義歯製作に必要な解剖学的ラウン ドマークと圧負担域を説明出来る。 2. 筋圧形成に係わる筋を説明出来 る。 3. 精密印象の目的と方法および手順 を説明出来る。 [E-5-3-4-2-1~8] 事前学修：義歯製作における精密印 象採得について、4年次の有床義歯 補綴学で使用したレジメ、講義ノー トに目を通して講義に臨むこと。
講義	9/24 (火)	1	田村晴希講師 (薬理学講座 病態制 御学分野)	薬理学総論 歯科診療を行う上で必 要な薬理学的知識を理 解する。	1. 薬物動態を説明できる。 2. 副作用・相互作用を説明できる。 [A-6全般、D-2-3-7] 事前学修課題：総論の要点について まとめておくこと。
講義	9/24 (火)	2	佐藤健一教授 (口腔顎顔面再建学 講座 歯科麻酔学分 野)	歯科麻酔学3 精神鎮静法 精神鎮静法の概念、各 種精神鎮静法を学ぶこ とで歯科治療時におけ る精神鎮静法の必要性 が理解できる。	1. 精神鎮静法の概念、目的、適応、 禁忌、種類、実施法を説明できる。 2. 吸入鎮静法を説明できる。 3. 静脈内鎮静法を説明できる。 4. 静脈内鎮静法の使用薬剤を説明で きる。 [E-1-(4)-(2)] 事前学修：到達目標の内容に関し臨 床歯科麻酔学第6版(第6章)を用い て調べること。(事前学修：最低30 分を要する 事後学修：最低30分を 要する)

講義	9/24 (火)	3	黒瀬雅之教授 (生理学講座 病態生理学分野)	内分泌機能と内分泌疾患 内分泌機能と病態を学び、他職種連携や在宅での診療を視野に有病者の状態を理解出来る。	1. 外分泌と内分泌を説明出来る。 2. ホルモンの種類を列記できる。 3: ホルモンの作用を説明できる。 4: フィードバックを説明できる。 5. 内分泌疾患を説明できる。 [A-3-1-9, D-6-1-1] 事前学修：該当箇所について、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 事前学修：レジユメの最後に記載する確認テストを用い、不明点について知識の補充を行う。
講義	10/15 (火)	1	加藤哲也助教 (生理学講座 病態生理学分野)	身体機能と中枢神経系 中枢神経系について学び、関連する各種生理学的機能を理解する。	1. 中枢神経系を区分できる。 2. 中枢神経系の構造を説明できる。 3: 生理機能と中枢神経系の関連を説明できる。 [A-3-1-5-1, 2, 3, 4] 事前学修：該当箇所について、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 事前学修：レジユメの最後に記載する確認テストを用い、不明点について知識の補充を行う。
講義	10/15 (火)	2	岸光男教授 (口腔医学講座 予防歯科学分野)	地域保健総論 地域保健の基本概念と根幹となる法規を学ぶことで地域保健の意義を理解することができる。	1. プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの違いを説明できる。 2. 保健所の業務を列挙できる。 3. 健康増進法を概説できる。 4. 地域保健法を概説できる。 [C-4-3-1~6, C-5-1~6] 事前学修：3年時社会と歯学の教科書、資料の該当範囲を通読しておくこと。講義中、適宜課題の呈示と質疑応答を行う。
講義	10/15 (火)	3	橋口大輔助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	小児歯科学4 小児の歯髄処置 乳歯および幼若永久歯に適切な歯内療法を行うための基本的事項を理解する。	症状やエックス線画像から、診断を行い、それにふさわしい処置法を選択できる。 [D-5-6-4] 事前学修：小児の歯内療法について教科書に目を通して講義に臨むこと。 事後学修：講義中に出题した問題を講義受講後に復習として解答すること。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。

講義	10/22 (火)	1	武本真治教授 (医療工学講座)	合着・接着用材料 歯科臨床での合着材および接着材の材料学的基礎を確認する。	1. 歯科用合着材の種類、成分、特徴を説明できる。 2. 歯科用接着材の種類、成分、特徴を説明できる。 3. 間接修復での接着前処理を説明できる。 4. 直接修復でのボンディングシステムの成分を説明できる。 5. 合着、接着操作の手順を説明できる。 [B-2-3] 事前学修：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、講義要旨、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	10/22 (火)	2	山田浩之教授 (口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野)	歯原性腫瘍 歯原性腫瘍の症状、診断、治療法を習得する。	1. 口腔領域に発症する歯原性腫瘍を列挙し、その特徴について説明する。 2. 口腔領域に発症する歯原性腫瘍の症状、治療法について説明する。 [D-3-1-6-1~5] 事前学修：口腔外科学第4版医歯薬出版P233~257を読み、疑問点を抽出しておくこと。
講義	10/22 (火)	3	深澤翔太准教授 (冠橋義歯・口腔インプラント学分野)	冠橋義歯学4 CAD/CAM冠と光学印象 CAD/CAM冠と光学印象について理解する。	1. CAD/CAM冠の製作法を理解する。 2. 光学印象を理解する。 [E-3-4)-(1)-①~⑬] アクティブラーニング：ディスカッション方式を取り入れた講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学修：クラウン・ブリッジ補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	10/22 (火)	4	米澤悠助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	有床義歯学4 有床義歯領域に必要な知識を習得することができる。	1. 有床義歯の知識を再確認し、基本的な内容について説明できる。 2. 義歯の製作術式を説明できる。 [E-5-3-4-2-1~8] 事前学修：義歯製作における精密印象採得について、4年次の有床義歯補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

講義	10/22 (火)	5	藤原尚樹教授 (解剖学講座 機能 形態学分野)	唾液腺の構造と支配神経 大唾液腺の解剖学的特徴と支配神経について理解する。	1. 大唾液腺の位置と手術時に注意すべき周辺の解剖学的構造について説明できる。 2. 唾液腺の分泌を調節する支配神経について説明できる。 3. 唾液腺の支配神経の走行と障害を関連づけて説明できる。 [A-3-2-1, 5, 6, 7, A-3-3-6, 7] 事前学修：「口腔解剖学第2版 第15章 PP178-184」を読み、唾液腺の解剖学的特徴、支配神経とその走行経路についてまとめておくこと。講義で重要事項について資料に書き込みながらフィードバックする。 事後学修：大唾液腺を支配する自律神経の走行経路について模式図を作成すると共に、各唾液腺の解剖学的特徴を簡潔に整理すること。
講義	10/29 (火)	2	村井治講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	SRPとメンテナンス、 SPT他 (要点4) 歯周治療における再評価項目内容を復習し、定期管理 (メンテナンス, SPT) の必要性を理解する。	1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明できる。 2. 歯周領域の演習問題を概説できる。 3. 歯周領域の要点を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー3版、臨床歯周病学3版で復習しておく。
講義	10/29 (火)	3	菊池和子講師 (口腔保健育成学講 座 小児歯科学・障害 者歯科学分野)	障がい者歯科2 症候群復習1	1. 口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を説明できる。 2. 系統的骨疾患の症状を説明できる。 [D-5-8-1] 事前学修：4年の講義ノートと教科書に目を通して講義に臨むこと。
講義	11/5 (火)	1	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周外科と再生療法 (要点5) 歯周外科における歯周組織再生療法の種類と適応症、術式、用いる材料等を理解する。	1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明できる。 2. 歯周領域の演習問題を概説できる。 3. 歯周領域の要点を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー3版、臨床歯周病学3版で復習しておく。
講義	11/5 (火)	2	三浦利貴助教 (微生物学講座 分子 微生物学分野)	微生物学各論 病原微生物による感染症およびその病原因子について理解する。	1. 感染の概念と感染症について説明できる。 2. 病原微生物による感染症・病原因子について説明できる。 [A-4-1-1, 2, 3, 5] 事前学修：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学修しておくこと。

講義	11/5 (火)	3	高橋徳明講師 (歯科放射線学分野)	画像診断の弱点補強 パノラマ正常解剖とCT、MRI正常解剖の知識を補強する。	1. 総合試験、復習試験等の結果から明らかになった以下の弱点項目を克服できる。 パノラマ正常解剖、CT、MRI正常解剖 [D-2-5-9] パノラマやCT、MRIの正常像をwebclassに公開する。各自、回答を作成できる。
講義	11/5 (火)	4	横田潤講師 (冠橋義歯・口腔インプラント学分野)	冠橋義歯学5 クラウン・ブリッジの修理とトラブル対応 クラウン・ブリッジの修理、トラブル対応について理解する	1. クラウンブリッジの修理とトラブル対応を理解する。 2修理に使用する機器や材料の特性を理解する。 [D-5-3-1-1~13] アクティブラーニング：ディスカッション方式を取り入れた講義を行う。 ICT：講義前後に講義内容に準じる領域のDESS演習を行うこと。 事前学修：クラウン・ブリッジ補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	11/5 (火)	5	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	歯科矯正学4 矯正治療のフォースシステム	1. 矯正力の4Dについて説明できる。 2. 矯正力と顎整形力について説明できる。 3. マルチブラケット装置における矯正力について説明できる。 [D-5-5-3, 4, 5] 事前学修：歯科矯正学p225~237を読み、疑問点を抽出しておくこと。
講義	11/12 (火)	1	岸光男教授 (口腔医学講座 予防歯科学分野)	地域保健各論 異なる対象集団に対する保健介入方法を学ぶことで、地域保健に関する応用性を身につけることができる。	1. 母子保健を概説できる。 2. 学校保健を概説できる。 3. 産業保健を概説できる。 [[C-4-3-1~6、C-5-1~6]] 事前学修：3年時社会と歯学の教科書、資料の該当範囲を通読しておくこと。講義中、適宜課題の呈示と質疑応答を行う。
講義	11/12 (火)	2	池崎晶二郎講師 (解剖学講座 発生生物・再生医学分野)	発生からみた歯の構造の正常と異常 I 歯の構造についてそれぞれの成因から説明できるようにする。 歯の先天的疾患について説明できるようにする。	1. 歯胚を構成する組織と形成細胞の分化・基質形成過程について説明できる。 2. 歯の発生の過程について説明できる 3. 歯の数や歯冠の形態などの遺伝子疾患に関わる病因について説明できる。 [A-2-4-7, A-3-4-1, -3, -4, -5, -6] 事前学修：歯の異常に関連した疾患について事前に小児の口腔科学4版を用いて学修して疑問点を抽出しておくこと。

講義	11/12 (火)	3	帖佐直幸准教授 (生化学講座 細胞情報科学分野)	炎症の生化学 炎症を調節する細胞や分子の作用を理解する。	1. 炎症関連細胞を列挙し、それらの働きについて説明できる 2. 代表的なケミカルメディエーターを列挙し、その作用を説明できる。 3. アラキドン酸カスケードを説明できる。 [A-1-2-1, A-1-2-3, A-4-2-1, A-5-5-1, A-5-5-2] 事前学修：到達目標の内容に関し教科書で調べて講義に臨むこと。
講義	11/12 (火)	4	田浦太志教授 (薬化学講座 天然物化学分野)	和漢薬・特別講義 歯科診療で用いることが出来る和漢薬を理解する。	1. 歯科診療で用いることのできる和漢薬を説明できる。 2. 高齢者および有病者の疾患に応じた和漢薬を選択できる。 [A-6-2全般、A-6-4全般、D-5-7-2]
講義	11/12 (火)	5	千葉俊美教授 (口腔医学講座 関連医学分野)	内科学 I 循環器疾患、悪性新生物・呼吸器疾患 代表的な循環器疾患、悪性新生物、呼吸器疾患について理解する。	1. 代表的な循環器疾患、悪性新生物、呼吸器疾患について理解し説明できる。 [D-2-3] 事前学修：講義に関する内容を講義資料および教科書（歯科医師のための内科学）で確認し講義に臨むこと。 事後学修：講義に関する内容をまとめること。
講義	11/12 (火)	6	佐藤健一教授 (口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野)	歯科麻酔学4 全身麻酔の理論、気道確保法を学ぶことで全身麻酔を理解することができる。	1. 全身麻酔の理論を説明できる。 2. 吸入麻酔法を説明できる。 3. 麻酔導入法・麻酔維持・麻酔の覚醒を説明できる。 4. 全身麻酔における気道確保法を説明できる。 [D-1-2-3] 事前学修：到達目標の内容に関し臨床歯科麻酔学第6版（第7、8章）を用いて調べる。所要時間30分以上。
講義	11/19 (火)	1	今一裕准教授 (冠橋義歯・口腔インプラント学分野)	口腔インプラント学2 インプラント補綴について治療の流れを理解する。	1. インプラント治療における補綴処置の流れを説明できる。 2. インプラント補綴に必要な器具、材料を列挙できる。 3. 口腔内スキャナーの活用法について説明できる。 [D-5-3-3-1~8] 事前学修：4年次に使用した教科書、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

講義	11/19 (火)	2	大橋祐生准教授 (口腔顎顔面再建学 講座 口腔外科学分 野)	悪性腫瘍 顎口腔領域に発生する 悪性腫瘍に関する知識 を習得する。	1. 顎口腔領域の悪性腫瘍の臨床症 状を説明する。 2. 顎口腔領域の悪性腫瘍の治療、 予後について説明する。 [D-3-1-6-3, 5] 事前学修：口腔外科学第4版医歯薬 出版P213～232、634～691を読み、 疑問点を抽出しておくこと。
講義	11/19 (火)	3	山田ありさ助教 (薬理学講座 病態制 御学分野)	抗腫瘍薬 歯科診療を行う上で必 要な抗腫瘍薬を理解す る。	1. 抗腫瘍薬の作用機序を説明でき る。 2. 抗腫瘍薬の副作用を説明できる。 3. 支持療法で用いる薬物を説明でき る。 [A-6-2全般、A-6-4全般] 事前学修：作用機序と副作用につい てまとめておくこと。
講義	11/19 (火)	4	帖佐直幸准教授 (生化学講座 細胞情 報科学分野)	骨の生化学 骨リモデリングのメカ ニズムについて理解す る。	1. 骨吸収因子による骨芽細胞を介し た破骨細胞の分化と成熟について説 明できる。 2. 破骨細胞による骨吸収を分子レベ ルで説明できる。 3. 骨形成や骨吸収と体内カルシウム 動態との関連性について理解する。 [A-3-1-2-2, A-3-1-2-3, A-3-1-2- 4, A-3-1-2-5, A-3-1-9-1, A-3-1-9- 2, A-3-1-9-3] 事前学修：到達目標の内容に関し教 科書で調べて講義に臨むこと。
講義	11/19 (火)	5	米澤紗織助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハ ビリテーション学分 野)	摂食嚥下リハビリテー ション② 摂食嚥下障害に対する 口腔衛生管理と治療法 を理解する。	1. 高齢者の口腔健康管理について説 明できる。 2. 摂食嚥下障害患者に対する口腔衛 生管理を説明できる。 3. 摂食嚥下障害患者に対する姿勢調 整を説明できる。 4. 摂食嚥下障害患者に対する食事介 助を説明できる 5. 摂食嚥下障害患者に対する食形態 の調整を説明できる。 [D-5-7-8] 事前学修：老年歯科医学 p 212～ 357、歯学生のための摂食嚥下リハ ビリテーション学 p 182～195、 p 196～212を読み、疑問点を500字程 度にまとめ発表できるようにしてお くこと。

講義	11/19 (火)	6	泉澤 充教授 (歯科放射線学分野)	画像診断のまとめ2 口腔領域の画像診断について修得する。	1. 疾患（下記）の画像所見を説明できる。 歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、歯原性嚢胞、非歯原性嚢胞、上顎洞疾患、口腔領域の悪性腫瘍、口腔領域の炎症、骨折、唾液腺疾患、顎関節症、骨系統疾患 [D-3-1-6]、[D-3-1-8]、[D-3-1-3-1~7] 事前学修：それぞれの疾患の分類、特徴を理解しまとめておく。
講義	11/26 (火)	4	橋口大輔助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	小児歯科学5 咬合誘導（保隙処置） 保隙の適応と処置法について理解する。	年齢や欠損状態に応じた保隙装置の選択ができる。 [D-5-6-8, 9] 事前学修：静的咬合誘導法について教科書に目を通して講義に臨むこと。 事後学修：講義中に出题した問題を講義受講後に復習として解答すること。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
講義	11/26 (火)	5	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	歯科矯正学5 矯正装置	1. 可撤/固定式矯正装置について説明できる。 2. 各種矯正装置の適応症について説明できる。 3. 各種矯正装置の効果について説明できる。 [D-5-5-4, 5] 事前学修：歯科矯正学p215～262を読み、疑問点を抽出しておくこと。
講義	11/26 (火)	6	澤田智史准教授 (医療工学講座)	義歯用材料 義歯用材料およびその製法を学ぶ。	1. 歯科臨床での義歯用材料の選択基準を説明できる。 2. 義歯用材料の種類を説明できる。 3. 義歯用材料の成分および性質を説明できる。 4. 義歯用材料の取扱い上の注意点を説明できる。 5. 義歯の製作過程を説明できる。 [B-2-2、B-3-1] 事前学修：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、講義要旨、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	12/3 (火)	1	Harvard School of Dental Medicine (口歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	Harvard School of Dental Medicine 共同講義	Full mouth reconstruction and Implant prosthesisについての総合的治療について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑪、⑫, S0-07]

講義	12/3 (火)	2	佐藤宏明助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	有床義歯学5 床義歯製作に必要な埋没・重合・研磨の方法を理解する。	1. 床義歯の埋没・重合・研磨の方法を説明出来る。 2. 埋没・重合・研磨の手順を説明出来る。 [E-5-3-4-2-1~8] 事前学修：義歯製作における精密印象採得について、4年次の有床義歯補綴学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	12/3 (火)	3	加藤哲也助教 (生理学講座 病態生理学分野)	身体機能と加齢変化 加齢変化と関連する病態を学び、歯科医師として知っておくべき高齢者の身体的特徴について理解する。	1. 人体の老化の特性と機序及び寿命を理解している。 2. 加齢による生理機能の変化を説明できる。 3: 高齢者の歯科治療において留意すべき身体的特徴を理解している。 [A-2-3-1, 2] 事前学修：該当箇所について、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。 事前学修：レジメの最後に記載する確認テストを用い、不明点について知識の補充を行う。
講義	12/3 (火)	4	千葉俊美教授 (口腔医学講座 関連医学分野)	内科学Ⅱ 消化器疾患、代謝・内分泌、血液疾患 代表的な消化器疾患、代謝・内分泌、血液疾患について理解する。	1. 代表的な消化器疾患、代謝・内分泌、血液疾患について理解し説明できる。 [D-2-3] 事前学修：講義に関する内容を講義資料および教科書（歯科医師のための内科学）で確認し講義に臨むこと。 事後学修：講義に関する内容をまとめること。
講義	12/3 (火)	5	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野)	歯科矯正学6 外科的矯正治療	1. 外科的矯正治療の目的について説明できる。 2. 外科的矯正治療の適応症について説明できる。 3. 外科的矯正治療の手順について説明できる。 [D-3-1-1-3] 事前学修：歯科矯正学p345～252を読み、疑問点を抽出しておくこと。

講義	12/3 (火)	6	齊藤桂子助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	小児歯科学6 全身疾患を有する小児の治療 全身疾患を持つ小児の歯科治療について理解する。	1. 全身疾患を持つ小児の口腔内について述べるができる。 2. 小児科との係わり方を述べるができる。 [D-3-1-1-1] 事前学修：全身疾患を有する小児の治療について教科書に目を通して講義に臨むこと。 事後学修：講義中に出題した問題を講義受講後に復習として解答すること。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
講義	12/3 (火)	7	大津圭史教授 (解剖学講座 発生生物・再生医学分野)	発生からみた歯周組織の構造の正常と異常 歯の構造についてそれぞれの成因から説明できるようにする。歯の先天的疾患について説明できるようにする。	1. 歯周組織を構成する組織と形成細胞の分化・基質形成過程について説明できる。 2. 歯根の発生と歯根の形態異常について説明できる。 3. 歯周組織に関わる疾患に関わる病因について説明できる。 [A-3-4-1, -7] 事前学修：歯の異常に関連した疾患について事前に小児の口腔科学4版を用いて学修して疑問点を抽出しておくこと。
講義	12/10 (火)	1	帖佐直幸准教授 (生化学講座 細胞情報科学分野)	癌の生化学 発癌、転移・浸潤のメカニズムについて理解する。	1. 癌遺伝子や癌抑制遺伝子の機能を説明できる。 2. 癌の悪性化と多段階発癌を説明できる。 3. 癌の転移や浸潤のメカニズムについて説明できる。 [A-1-3-2, A-5-1-1, A-5-6-1, A-5-6-1-2, A-5-6-4, A-5-6-5] 事前学修：到達目標の内容に関し教科書で調べて講義に臨むこと。
講義	12/10 (火)	2	岸光男教授 (口腔医学講座 予防歯科学分野)	社会保障 社会保障制度を理解することで適切な保険診療を提供することができる。	1. 社会保障の分類を列挙できる。 2. 医療保険制度を概説できる。 3. 公費医療制度を列挙できる。 [C-4-3-2~6] 事前学修：3年時社会と歯学の教科書、資料の該当範囲を通読しておくこと。講義中、適宜課題の呈示と質疑応答を行う。

講義	12/10 (火)	3	東兼司助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	齶蝕 保存修復学4 間接修復(インレー)	1. 各種インレー修復の窩洞形態の違いについて説明できる。 2. 各種インレーの内面処理の違いを説明できる。 3. 各種インレーの装着時の手順の違いについて説明できる。 4. レジンコーティングの目的、使用材料について説明できる。 [D-5-2-1-5, 6, 7] 事前学修：講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書(医歯薬保存修復学)にて確認する。
講義	12/10 (火)	4	菊池和子講師 (口腔保健育成学講 座 小児歯科学・障害 者歯科学分野)	障がい者歯科3 症候群復習2	1. 口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を説明できる。 2. 系統的骨疾患の症状を説明できる。 [D-5-8-1] 事前学修：4年の講義ノートと教科書に目を通して講義に臨むこと。
講義	12/10 (火)	5	佐藤健一教授 (口腔顎顔面再建学 講座 歯科麻酔学分 野)	歯科麻酔学5 ペインクリニック 顎口腔領域の疼痛および麻痺性疾患を学ぶことで疼痛管理の重要性を理解することができる。	1. 顎顔面口腔領域の疼痛及び麻痺性疾患を説明できる。 2. 三叉神経痛の概念、症状及び治療法を説明できる。 3. 顔面神経麻痺の概念、症状及び治療法を説明できる。 4. 星状神経節ブロックの適応、方法及び合併症を説明できる。 [D-3-1-9] 事前学修：到達目標の内容に関し臨床歯科麻酔学第6版(第14、15章)を用いて調べること。(事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低30分を要する)
講義	12/10 (火)	6	石河太知教授 (微生物学講座 分子 微生物学分野)	ウイルス学 ウイルスの性状と感染経路、標的器官および感染症を理解する。	1. 主要な病原性ウイルスの性状・感染経路・標的器官および感染症を説明できる。 [A-4-1-1, 2, 3, 5] 事前学修：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学修しておくこと。

講義	12/17 (火)	1	中村友宣助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	齶蝕 歯内療法学5 根管充填方法と根管治 療時の偶発症	1. 根管充填の目的について説明できる。 2. 根管充填可能な時期について説明できる。 3. 根管充填に使用する器具、材料について説明できる。 4. 根管充填後の根尖周囲組織の治癒機転について説明できる。 5. 根管治療時の偶発症について説明できる。 [D-5-2-2-2, 3, 4] 事前学修：根管充填と根管治療時の偶発症について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書（医歯薬歯内治療学）にて確認する。
講義	12/17 (火)	2	小川淳准教授 (口腔顎顔面再建学 講座 口腔外科学分 野)	炎症 炎症の概念を理解し、 歯性感染症に関する知 識を習得する。	1. 顎口腔の炎症の症状、診断法、治療法を説明する。 2. 歯性感染症の概念と感染経路を説明する。 3. 顎骨骨髓炎の症状、経過、治療法について説明する。 [D-3-1-3-1~7] 事前学修：口腔外科学第4版医歯薬出版P122~172を読み、疑問点を抽出しておくこと。
講義	12/17 (火)	3	田村晴希講師 (薬理学講座 病態制 御学分野)	抗菌薬 歯科診療を行う上で必 要な抗菌薬を理解す る。	1. 抗菌薬の分類、作用機序と副作用を説明できる。 2. 適切な抗菌薬の使用を説明できる。 [A-6-2全般、A-6-4全般] 事前学修課題：抗菌薬の分類、作用機序と副作用についてまとめておくこと。
講義	12/17 (火)	4	千葉学助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	特殊な歯周病と薬物療 法他（要点6） 特殊な歯周病、歯周領 域の薬物療法（局所薬 物配送システム他）、 歯周領域のレーザー治 療を理解する。	1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明できる。 2. 歯周領域の演習問題を概説できる。 3. 歯周領域の要点を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー3版、臨床歯周病学3版で復習しておく。

講義	12/17 (火)	5	入江太朗教授 (病理学講座 病態解析学分野)	唾液腺の非腫瘍性病変と唾液腺腫瘍	<p>1. 唾液腺の発育異常について説明できる。 2. 唾液腺の退行性・進行性病変について説明できる。 3. 唾石症・唾液腺の嚢胞について説明できる。 4. 唾液腺の炎症性疾患について説明できる。 5. 唾液腺の自己免疫疾患について説明できる。 6. 唾液腺の良性上皮性腫瘍について説明できる。 7. 唾液腺の悪性上皮性腫瘍について説明できる。 8. 唾液腺の非上皮性腫瘍について説明できる。 [D-3-1-8]</p> <p>事前学修：新口腔病理学p257-282を読み、疑問点を抽出しておくこと。</p>
講義	12/17 (火)	6	米澤紗織助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	摂食嚥下リハビリテーション③ 摂食嚥下障害を持つ患者への対応を理解する。	<p>1. 摂食嚥下障害に対する対応について説明できる。 2. 多職種連携による様々な対応について説明できる。 [D-5-7-8], [D-6-2-3, 4]</p> <p>事前学修：老年歯科医学 p 353～372、歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p 214～233 老年歯科医学 p 262～298を読み、疑問点をまとめておくこと。</p>
講義	1/7 (火)	2	福徳暁宏講師 (冠橋義歯・口腔インプラント学分野)	口腔インプラント学3 インプラントのメンテナンスと合併症について理解する。	<p>1. メインテナンスの重要性と方法を理解する。 2. インプラント周囲炎の特徴と治療法を説明できる。 [D-5-3-3-1～8]</p> <p>事前学修：4年次に使用した教科書、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。</p>

講義	1/7 (火)	3	藤原尚樹教授 (解剖学講座 機能 形態学分野)	嚥下と筋 口唇、頬、舌、口蓋帆 及び頸部の筋の走行と それぞれの関係性や機 能から、嚥下を解剖学 的に理解する。	1. 舌骨上筋群と舌骨下筋群の構成と 機能及び神経支配を説明できる。 2. バクシネータメカニズムについて 説明できる。 3. 舌筋の種類と機能及び神経支配を 説明できる。 4. 口蓋帆の筋の機能と支配神経を説 明できる。 5. 嚥下のステージと関与する筋群の 関連を説明できる。 [A-3-2-2, 4, 6, 10, 12, A-3-3-2, 3, 4] 事前学修：嚥下5期の各ステージと 関係する筋肉について「口腔解剖学 第2版 第17章 咀嚼と嚥下」を読 み概要をまとめておくこと。講義で 重要事項について資料に書き込みな がらフィードバックする。 事後学修：嚥下5期の各ステージご とに関係する筋とその支配神経、機 能との関係について簡潔にまとめる こと。
講義	1/7 (火)	4	千葉俊美教授 (口腔医学講座 関連 医学分野)	内科学Ⅲ 腎疾患、精神疾患 代表的な腎疾患、精神 疾患について理解する。	1. 代表的な腎疾患、精神疾患につい て理解し説明できる。 [D-2-3] 事前学修：講義に関する内容を講義 資料および教科書（歯科医師のため の内科学）で確認し講義に臨むこ と。 事後学修：講義に関する内容をまと めること。
講義	1/7 (火)	5	佐藤健一教授 (口腔顎顔面再建学 講座 歯科麻酔学分 野)	歯科麻酔学6 救急蘇生法 一次救命処置を学ぶこ とで救急時の対処法を を理解することができる。	1. バイタルサインを説明できる。 2. 一次救命処置を説明できる。 3. 自動対外式除細動器を説明でき る。 4. 異物による気道閉塞とその解除法 を説明できる。 5. 脳死の分類、判定基準を説明でき る。 [E-1-4)-(3)] 事前学修：到達目標の内容に関し臨 床歯科麻酔学第6版（第13章）を用 いて調べること。（事前学修：最低 30分を要する 事後学修：最低30分 を要する）

講義	1/7 (火)	6	川井忠准教授 (口腔顎顔面再建学 講座 口腔外科学分 野)	顎関節疾患 顎関節疾患の症状、診 断、治療法を習得す る。	1. 顎関節症の概念と成因を説明でき る。 2. 顎関節症の分類と治療法を説明で きる。 3. その他の顎関節疾患を説明でき る。 [D-3-1-7-1, 2] 事前学修: 口腔外科学第4版医歯薬出 版P335~375を読み疑問点を抽出し ておくこと。
講義	1/7 (火)	7	小林琢也教授 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハ ビリテーション学分 野)	摂食嚥下リハビリテー ション④ 摂食嚥下障害患者に対 する診察から治療計画 の立案法を理解する。	1. 摂食嚥下障害患者に対する治療 計画立案ができる。 2. 摂食嚥下障害患者に対するリハ ビリテーション治療について説明で きる。 [D-5-7-8] 事前学修: よくわかる高齢者歯科学 P186-208を読み、疑問点を抽出して おくこと (所要時間60分)。
講義	1/14 (火)	1	藤原尚樹教授 (解剖学講座 機能 形態学分野)	口腔内臓の栄養血管と 支配神経 上顎神経、下顎神経の 分布と経路、顎動脈の 分布と経路を理解する。	1. 上顎神経の支配領域と走行経路を 説明できる。 2. 下顎神経の支配領域と走行経路を 説明できる。 3. 顎動脈の分布範囲と走行経路を説 明できる。 [A-3-2-2, 3, 4, 5, 6] 事前学修: 「口腔解剖学第2版 第 13章 頭頸部の血管・リンパ系 PP133-137, 第14章頭頸部の神経系 PP160-166」を読み概要をまとめて おくこと。講義で重要事項について 資料に書き込みながらフィードバッ クする。 事後学修: 上顎神経と下顎神経及び 顎動脈の走行経路について模式図を 描いてまとめること。
講義	1/14 (火)	2	佐藤泰生講師 (病理学講座 病態解 析学分野)	全身性疾患と口腔病変	1. ウイルス感染症について説明でき る。 2. 細菌性感染症について説明でき る。 3. 内分泌代謝障害について説明でき る。 4. 栄養障害について説明できる。 [D-3-1-10] 事前学修: 新口腔病理学p312-330を 読み、疑問点を抽出しておくこと。

講義	1/14 (火)	3	岸光男教授 (口腔医学講座 予防 歯科学分野)	う蝕と歯周病の予防 う蝕と歯周病の発症機序を理解することで、根拠に基づいた疾病予防計画を策定することができるようになる。	1. う蝕のリスク因子を列挙できる。 2. 歯周病のリスク因子を列挙できる。 3. う蝕のリスク因子に対応する予防法を選択できる。 4. う蝕のリスク評価法を列挙できる。 5. 歯周病のリスク評価法を列挙できる。 6. フッ化物によるう蝕予防機序を説明できる。 7. 歯磨剤の薬用成分を列挙できる。 [C-5-1~3、D-5-1-1~6] 事前学修：該当箇所について、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
講義	1/14 (火)	4	熊谷章子教授 (法科学講座 法歯 学・災害口腔医学分 野)	ヒトの死 終末期医療、死亡診断、死因究明・身元調査制度について理解できる。	1. 緩和医療と終末期医療について説明できる。 2. アドバンスケアプランニングの意義を説明できる。 3. 在宅医療における看取りについて説明できる。 4. 死亡診断ができる。 5. 死亡診断と死体検案の違いを説明できる。 6. 日本の死因究明・身元調査制度と歯科医師の関わりについて説明できる。 [A-2-3-4] [C-1-1-1] [C-1-1-2] [C-1-1-3] [C-1-1-4] [C-1-2-3] [C-1-3-1] [C-1-3-6] [C-4-1-1] [C-4-2-1] [C-4-4-3] 事前学修：法歯科医学p6-16を読み、疑問点を抽出しておくこと（所要時間30分以上）。 事後学修：講義で習得した基本的事項をまとめること（所要時間30分以上）。
講義	1/14 (火)	5	中村友宣助教 (歯科保存学講座 う 蝕治療学分野)	齶蝕 歯内療法学6 外科的歯内療法	1. 外科的歯内療法の適応について説明できる。 2. 外科的歯内療法の術式を説明できる。 3. 外科的歯内療法に使用する器具と、器具の使用方法について説明できる。 [D-5-2-2-5] 事前学修：外科的歯内療法について、講義ノート、実習書を参照。理解ができない場合は、教科書（医歯薬歯内治療学）にて確認する。

講義	1/14 (火)	6	武本真治教授 (医療工学講座)	成形修復材—コンポジットレジンを中心に コンポジットレジンならびに直接修復する材料の材料学的基礎を確認する。	1. コンポジットレジンの構成、成分を説明できる。 2. 直接修復に関する材料の構成を説明できる。 3. 間接修復用コンポジットレジンの構成と成分を説明できる。 4. グラスアイオノマーセメントの成分と硬化反応、特徴を説明できる。 5. 支台築造材の特徴を説明できる。 [B-2-1] 事前学修：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、講義要旨、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
----	-------------	---	--------------------	--	--

講義/演習日程表

総合講義（Ⅰ）前期試験解説講義（8月22日～8月26日）

総合講義（Ⅰ）後期試験解説講義（1月31日～2月4日）

区分	月日 (曜)	時間	担当教員 (講座 分野)	ユニット名
講義	8/22 (木)	8:40～9:15	藤原尚樹教授 (解剖学講座 機能形態学分野)	総合講義（Ⅰ） 前期試験解説講義
講義	8/22 (木)	9:15～9:50	原田英光教授 (解剖学講座 発生生物・再生医学分野)	総合講義（Ⅰ） 前期試験解説講義
講義	8/22 (木)	10:00～10:35	加藤哲也助教 (生理学講座 病態生理学分野)	総合講義（Ⅰ） 前期試験解説講義
講義	8/22 (木)	10:35～11:10	帖佐直幸准教授 (生化学講座 細胞情報科学分野)	総合講義（Ⅰ） 前期試験解説講義
講義	8/22 (木)	11:20～11:55	(病理学講座 病態解析学分野)	総合講義（Ⅰ） 前期試験解説講義
講義	8/22 (木)	13:00～13:50	中村友宣助教 (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)	総合講義（Ⅰ） 前期試験解説講義
講義	8/22 (木)	14:00～14:50	中村友宣助教 (歯科保存学講座 う蝕治療学分野)	総合講義（Ⅰ） 前期試験解説講義
講義	8/22 (木)	15:00～16:00	橋口大輔助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	総合講義（Ⅰ） 前期試験解説講義
講義	8/22 (木)	16:00～16:30	(口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	総合講義（Ⅰ） 前期試験解説講義
講義	8/22 (木)	16:40～17:10	千葉俊美教授 (口腔医学講座 関連医学分野)	総合講義（Ⅰ） 前期試験解説講義
講義	8/23 (金)	8:40～9:15	石河太知教授 (微生物学講座 分子微生物学分野)	総合講義（Ⅰ） 前期試験解説講義
講義	8/23 (金)	9:15～9:50	田村晴希講師 (薬理学講座 病態制御学分野)	総合講義（Ⅰ） 前期試験解説講義

講義	8/23 (金)	10 : 00～10 : 40	武本真治教授 (医療工学講座)	総合講義 (I) 前期試験解説講義
講義	8/23 (金)	10 : 50～12 : 00	今一裕准教授 (歯科補綴学講座 冠橋義 歯・口腔インプラント学分 野)	総合講義 (I) 前期試験解説講義
講義	8/23 (金)	13 : 00～13 : 55	(口腔顎顔面再建学講座 歯 科放射線学分野)	総合講義 (I) 前期試験解説講義
講義	8/23 (金)	14 : 05～15 : 10	(口腔顎顔面再建学講座 歯 科麻酔学分野)	総合講義 (I) 前期試験解説講義
講義	8/23 (金)	15 : 10～15 : 35	熊谷章子教授 (法科学講座 法歯学・災害 口腔医学分野)	総合講義 (I) 前期試験解説講義
講義	8/23 (金)	15 : 45～17 : 25	小川淳准教授 (口腔顎顔面再建学講座 口 腔外科学分野)	総合講義 (I) 前期試験解説講義
講義	8/26 (月)	8 : 40～9 : 45	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科 矯正学分野)	総合講義 (I) 前期試験解説講義
講義	8/26 (月)	9 : 55～11 : 00	小林琢也教授 (歯科補綴学講座 有床義 歯・口腔リハビリテーショ ン学分野)	総合講義 (I) 前期試験解説講義
講義	8/26 (月)	11 : 10～11 : 50	小林琢也教授 (歯科補綴学講座 有床義 歯・口腔リハビリテーショ ン学分野)	総合講義 (I) 前期試験解説講義
講義	8/26 (月)	13 : 00～14 : 05	村井治講師 (歯科保存学講座 歯周療法 学分野)	総合講義 (I) 前期試験解説講義
講義	8/26 (月)	14 : 15～15 : 20	(口腔医学講座 予防歯科学 分野)	総合講義 (I) 前期試験解説講義

講義	1/31 (金)	8 : 40～9 : 15	原田英光教授 (解剖学講座 発生生物・再 生医学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	1/31 (金)	9 : 15～9 : 50	加藤哲也助教 (生理学講座 病態生理学分 野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義

講義	1/31 (金)	10 : 00～10 : 35	帖佐直幸准教授 (生化学講座 細胞情報科学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	1/31 (金)	10 : 35～11 : 10	三浦利貴助教 (微生物学講座 分子微生物学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	1/31 (金)	11 : 20～11 : 55	田村晴希講師 (薬理学講座 病態制御学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	1/31 (金)	13 : 00～14 : 40	山田浩之教授 (口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/1 (土)	8 : 40～9 : 45	村井治講師 (歯科保存学講座 歯周療法学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/1 (土)	9 : 55～11 : 05	今一裕准教授 (歯科補綴学講座 冠橋義歯・口腔インプラント学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/3 (月)	8 : 40～9 : 40	橋口大輔助教 (口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/3 (月)	9 : 40～10 : 10	(口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/3 (月)	10 : 20～11 : 25	(口腔医学講座 予防歯科学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/3 (月)	13 : 00～13 : 35	藤原尚樹教授 (解剖学講座 機能形態学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/3 (月)	13 : 35～14 : 10	(病理学講座 病態解析学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/3 (月)	14 : 20～15 : 00	武本真治教授 (医療工学講座)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/3 (月)	15 : 00～15 : 40	小林琢也教授 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/3 (月)	15 : 50～16 : 55	小林琢也教授 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義

講義	2/4 (火)	8 : 40～9 : 30	中村友宣助教 (歯科保存学講座 う蝕治療 学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/4 (火)	9 : 40～10 : 30	中村友宣助教 (歯科保存学講座 う蝕治療 学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/4 (火)	10 : 40～11 : 45	佐藤和朗教授 (口腔保健育成学講座 歯科 矯正学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/4 (火)	13 : 00～13 : 55	(口腔顎顔面再建学講座 歯 科放射線学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/4 (火)	14 : 05～15 : 10	(口腔顎顔面再建学講座 歯 科麻酔学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/4 (火)	15 : 20～15 : 50	千葉俊美教授 (口腔医学講座 関連医学分 野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義
講義	2/4 (火)	15 : 50～16 : 15	熊谷章子教授 (法科学講座 法歯学・災害 口腔医学分野)	総合講義 (I) 後期試験解説講義

教科書・参考書・推薦図書…予め指定する図書はありません。

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年

成績評価方法・基準・配点割合等

- ・定期試験は各科目を統合した総合試験とする。
- ・総合試験（前期、後期）を90%とし、週間および月間復習試験を10%として評価する。
 ＊前期総合試験と後期総合試験の点数配分 前期：後期＝40%：50%
 ＊判定基準は総合試験、週間および月間復習試験の合計が65%以上を合格とする。

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等）

講義資料は必要に応じてWebClassにアップロードする。事前および事後に当該科目のDESS演習を活用する。週間復習試験ではその週に受講した講義内容についての習熟度の確認を、月間復習試験では該当月間に受講した講義内容を中心とした習熟度の確認を行う。

【総合試験の受験資格1（出席）】

- 以下の条件をすべて満たした場合に出席にかかる前期試験の受験資格を認める。
- ・4～7月の当該科目の出席（講義およびDESS最終演習）が5分の4以上であること
 - ・4～7月に実施される週間復習試験を5分の4以上受験していること
 - ・4～7月に実施される月間復習試験を5分の4以上受験していること

以下の条件をすべて満たした場合に出席にかかる後期試験の受験資格を認める。

- ・8～1月の当該科目の出席（講義およびDESS最終演習）が5分の4以上であること
- ・8～1月に実施される週間復習試験を5分の4以上受験していること
- ・8～1月に実施される月間復習試験を5分の4以上受験していること

【総合試験の受験資格2（DESS演習および臨床・必修試験）】

以下の条件をすべて満たした場合に、臨床・必修試験に係る後期試験の受験資格を認める。

- ・臨床試験を受験すること
 - ・必修試験2回の成績が各80%以上
- ＊試験結果により合格水準および再試験内容を変更することがある。必修試験で不合格になったものは、再試験を継続受験し、後期試験前までに80%以上得点し合格することを原則とする。

以下の条件をすべて満たした場合に、DESS演習に係る後期試験の受験資格を認める。

- ・空き時間利用演習（4月臨床実地、5月基礎・臨床）及び講義室演習の成績が80%以上
- ＊上記各試験で不合格になったものは、再演習を受験し、後期試験前までに80%以上得点し合格することを原則とする。

授業に使用する機械・器具と使用目的…特記すべき器械・器具等はございません。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的

2024 年度 5 年 DESS 演習 (必ずお試し演習で予習してから各演習に臨むこと)

空き時間利用演習

臨床実地問題：4 月出題 (各正答率 8 割以上で合格)

9 月末までに全て合格すること。(後期総合試験の受験資格、不合格の場合 5 月以降に再演習)

必修・一般問題：5 月出題 (基礎・臨床、各正答率 8 割以上で合格)

翌年 1 月末までに全て合格すること。(後期総合試験の受験資格、不合格の場合 6 月以降に再演習)

講義室演習 (臨床実地および必修問題)：各正答率 8 割以上で合格

翌年 1 月末までに全て合格すること。(後期総合試験の受験資格、不合格の場合再演習)

(網掛けは臨床実地問題)

実施日	出題数	臨床実地および必修 (基礎・臨床)		
5 月 25 日 (土)	170	修復 (55)	歯内 (52)	歯周 (63)
6 月 22 日 (土)	206	有床 (102)	クラブリ他 (104)	
7 月 27 日 (土)	161	口外 I (80)	口外 II (81)	
8 月 24 日 (土)	106	小児 (102)	高齢者 (4)	
9 月 28 日 (土)	132	矯正 (84)	放射線 (20)	麻酔 (28)
11 月 26 日 (火)	283	必基① (97)	必基② (69)	必基③ (117)
12 月 24 日 (火)	292	必臨① (110)	必臨② (106)	必臨③ (76)
1 月 25 日 (土)	演習予備	予備	予備	予備

必修問題の内訳：

必基①：解剖・組織・生理・生化・病理

必基②：細菌・薬理・理工

必基③：衛生

必臨①：修復・歯内・歯周・有床・口外・クラブリ

必臨②：高齢者・歯放・歯麻

必臨③：小児・矯正

週間復習試験日程

当該週の火曜日行われた講義内容に関する復習試験を以下の日程で実施する。

実施は原則として金曜日の 8 時限の 17:40 から 18:40 とする。

1	5 月 2 日	7	6 月 14 日	13	8 月 2 日	19	10 月 22 日	25	11 月 29 日	31	1 月 24 日
2	5 月 10 日	8	6 月 21 日	14	8 月 30 日	20	10 月 29 日	26	12 月 6 日		
3	5 月 17 日	9	6 月 28 日	15	9 月 10 日	21	11 月 5 日	27	12 月 13 日		
4	5 月 24 日	10	7 月 5 日	16	9 月 17 日	22	11 月 12 日	28	12 月 20 日		
5	5 月 31 日	11	7 月 12 日	17	9 月 24 日	23	11 月 19 日	29	1 月 10 日		
6	6 月 7 日	12	7 月 26 日	18	10 月 15 日	24	11 月 26 日	30	1 月 17 日		

月間復習試験日程

当該月の火曜日行われた全講義内容に関する復習試験を以下の日程で実施する。

実施は原則として土曜日の 1 時限の 8:40 から 9:40 とする。

1	5 月 25 日	3	7 月 27 日	5	9 月 28 日	7	11 月 26 日	9	1 月 25 日
2	6 月 22 日	4	8 月 3 日	6	10 月 29 日	8	12 月 24 日		